

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント VPP 運用マニュアル


最終更新日 2018 年 9 月 14 日

株式会社オプティム
(c)東日本電信電話株式会社

はじめに


本マニュアルの目的

本マニュアルでは、VPP アプリケーションと VPP 書籍の配信を行うための手順について説明しています。

-  Volume Purchase Program (Apple Deployment Program) ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合でも、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント側の操作方法是変わりません。Volume Purchase Program 側の操作が、Apple Business Manager での操作となります。Apple Business Manager の操作方法については、以下を参照してください。

 <https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>

管理サイト側の基本操作や、各設定項目の詳細については、以下を参照してください。




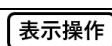


 『管理サイト リファレンス マニュアル』

本マニュアルの見かた

本マニュアルの説明で使用する記号やマークの意味、マニュアルで使用している画面の種類や注意事項は以下のとおりです。


◆記号・マークについて

マニュアルで使用しているマークや記号は以下のとおりです。

記号・マーク	説明
[]	メニュー名、ボタン名、リンク名を表します。
「 」	タブ名や機能名、項目名、マニュアル内の参照先など、強調したい名称を表します。
『 』	参照先のマニュアルを表します。
⇒	操作の結果を表します。
	マニュアルや見出しの参照先を記載します。
	注意すべきことについて説明しています。
	運用や操作のポイントや、知っておくと便利なことについて説明しています。
	画面説明において、該当の画面を表示するためのメニュー操作を記載します。  [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [アプリケーション配信] → 

◆画面について

- 本マニュアルはユーザー種別が「管理者」用です。ユーザー種別「管理者」以外で管理サイトにログインした場合は、ユーザー種別に応じて編集や閲覧に制限がかかります。詳細は、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「ユーザー」

- 画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。
- Windows の OS バージョンや、ご使用になるブラウザによって、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome で表示した画面を使用して説明しています。

Web サイトの URL について

マニュアルの説明で記載している弊社以外の Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

商標について

- iPhone、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 VPP 運用マニュアル	5
1.1 VPP アプリケーションの配信手順.....	6
1.1.1 VPP トークン	6
1.1.2 VPP トークンのアップロード	7
1.1.3 VPP ライセンスの確認	10
1.1.4 端末とユーザーの関連付け	11
1.1.5 ライセンスの仮割当・割当の反映.....	13
1.1.5.1 VPP テンプレートの作成（任意設定）	13
1.1.5.2 ライセンスの仮割当（ユーザー／組織／機器）	14
1.1.5.3 仮割当したライセンスの反映	18
1.1.5.4 ライセンスの割当を反映.....	20
1.1.6 ライセンスの回収	21
1.1.7 管理対象アプリポリシーの作成	24
1.1.8 アプリケーション配信設定の作成.....	25
1.1.9 アプリケーション配信設定を割当.....	26
1.1.10 iOS 端末での割当許可	28
1.2 VPP 書籍の配信手順.....	29
1.2.1 VPP トークン	29
1.2.2 VPP トークンのアップロード	30
1.2.3 VPP ライセンスの確認	33
1.2.4 端末とユーザーの関連付け	34
1.2.5 ライセンスの仮割当・割当の反映.....	36
1.2.5.1 VPP テンプレートの作成（任意設定）	36
1.2.5.2 ライセンスの仮割当（ユーザー／組織）	37
1.2.5.3 仮割当したライセンスの反映	41
1.2.5.4 ライセンスの割当を反映.....	42
1.2.6 iOS 端末での割当許可	43

1 VPP 運用マニュアル

本マニュアルは、VPP 運用についての情報を記載します。

以下の項目について説明しています。

項目	ページ
VPP アプリケーションの配信手順	6
VPP 書籍の配信手順	29

1.1 VPP アプリケーションの配信手順

Apple 社の提供する Volume Purchase Program (VPP) では、有料アプリのライセンス管理・配布を行うことができます。VPP を利用することで有料アプリのライセンスを大量に購入し、複数のユーザー、組織、または機器を対象に同時に配布できるようになります。

- ❑ 本機能以外（他の MDM など）によってライセンスの付与・ユーザーの招待が行われた場合は、管理対象外となります。
- ❑ 本機能によってライセンスが付与されていても、App Store からアプリの配信が取り消された場合は配信できません。
- ❑ VPP サーバートークンの有効期間は 1 年間です。Apple Push 証明書と同様に 1 年に 1 回の更新が必要です。
- ❑ 機器への VPP ライセンスの割り当ては、iOS 9 以降の OS に対応しています。iOS 9 以前の端末に対して行った場合、VPP アプリケーションは配布されませんのでご注意ください。

1.1.1 VPP トークン

VPP トークンとは、VPP アカウントを管理サイトにリンクするためのトークンです。

VPP トークンには VPP プログラムで購入したライセンスの種類や数量に関する情報が含まれています。この VPP トークンを「VPP ライセンス」からアップロードすることで、VPP のライセンス管理・配布を管理サイト内で行うことができます。

📖 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定-iOS」-「VPP ライセンス」

Apple から VPP トークンを入手するには、事前に以下の準備が必要です。

- メールアドレスの準備
- D-U-N-S ナンバーの登録（登録制の標準企業コードです。登録には数日かかる場合があります。）

準備ができたら「<https://www.apple.com/jp/business/programs/#vpp>」から Apple の Volume Purchase Program へのアカウント登録を行います。アカウントの発行まで 2、3 時間かかる場合があります。アカウントの登録が完了したら、VPP ライセンスを使用したアプリの一括購入ができます。

アプリの購入後に VPP トークンをダウンロードします。

VPP トークンの更新

Apple 社の提供する Volume Purchase Program (VPP) は、1 年に 1 度更新する必要があります。

VPP トークンの有効期限が切れてしまうと、アプリケーションの管理ができなくなります。さらに、VPP サーバーとオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントサーバーの通信ができなくなりますので、アプリライセンスの状態管理、配布、回収ができなくなります。期限切れになる前に更新作業を行ってください。

更新の詳細については、以下を参照してください。

📖 『VPP サーバートークン年次更新マニュアル』

1.1.2 VPP トークンのアップロード

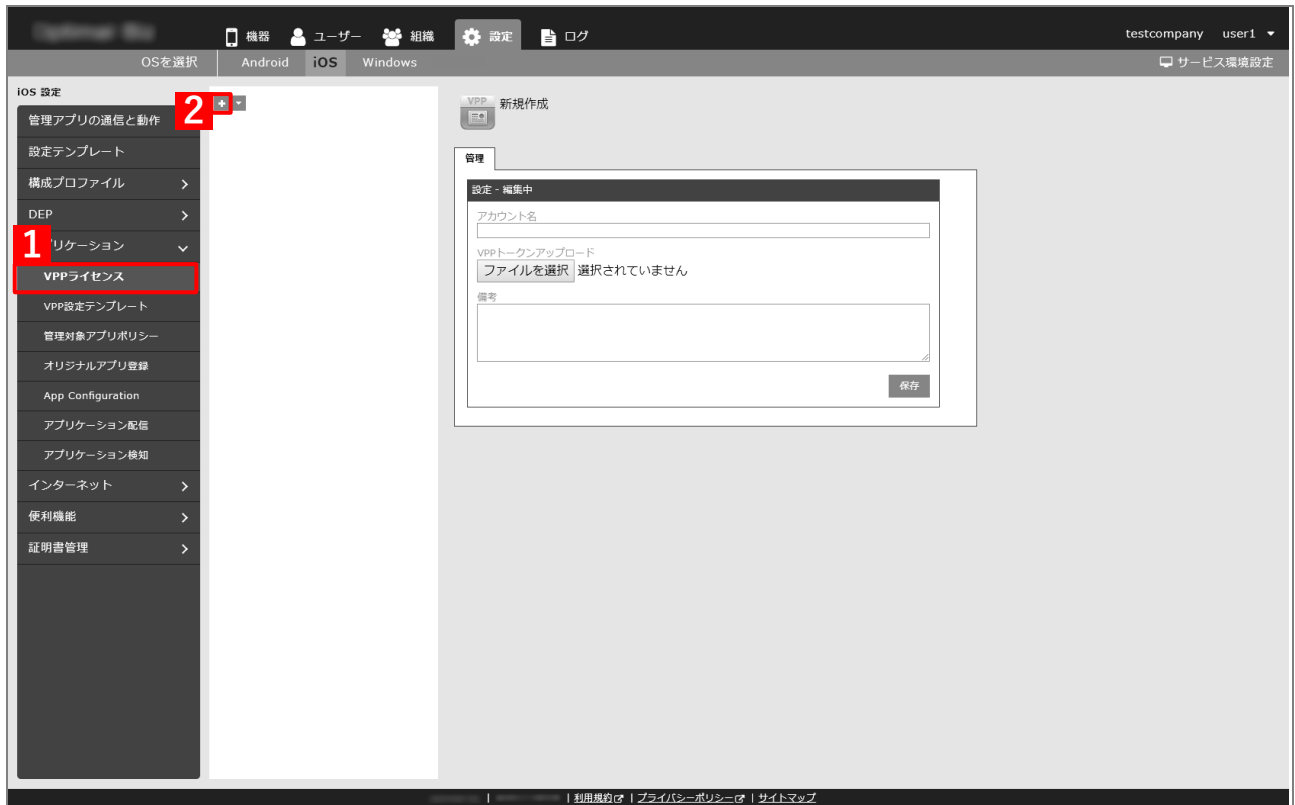
VPP トークンをアップロードします。

📌 VPP ライセンスは 500 件まで登録できます。

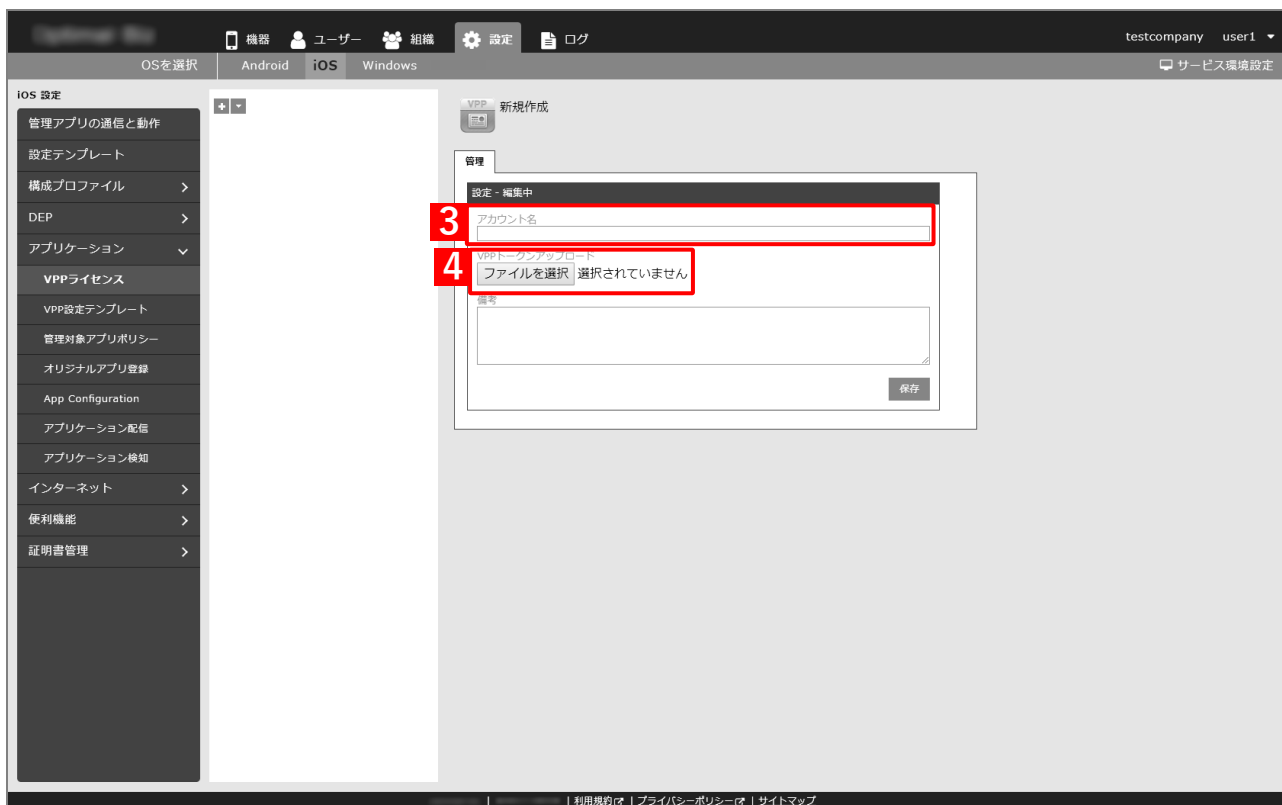
【1】 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] をクリックします。

【2】 **+** をクリックします。

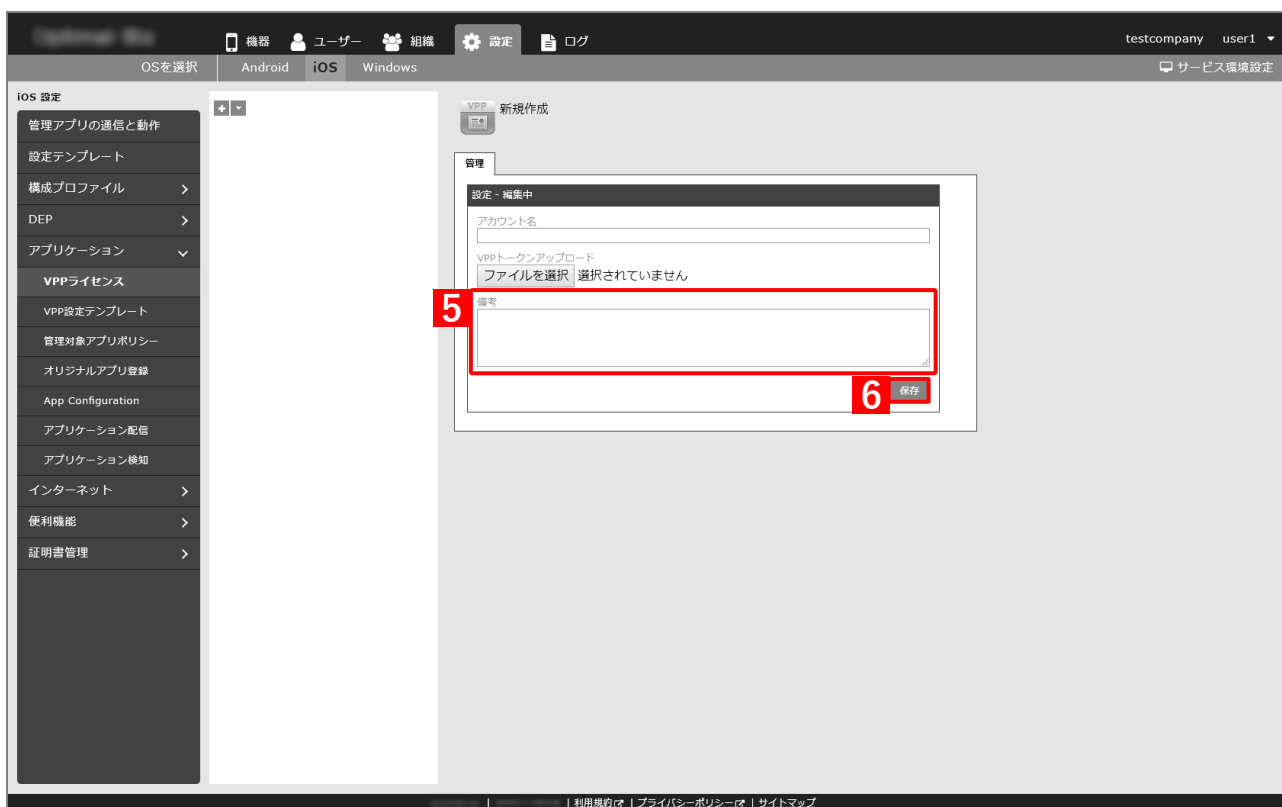
⇒ 「新規作成」画面が表示されます。



- 【3】 「アカウント名」に VPP トークンの名称を入力します。
- 【4】 「ファイルを選択」 からアップロードする VPP トークンを指定します。

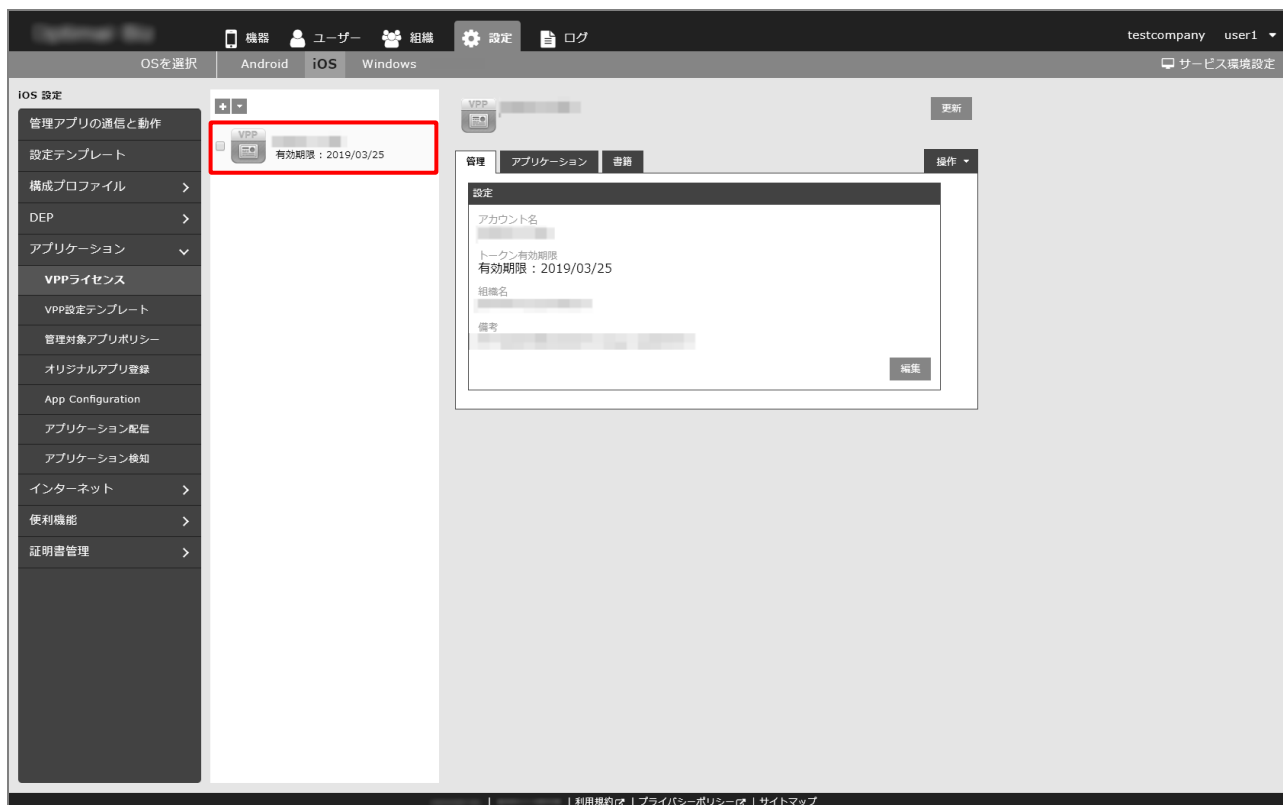


- 【5】 「備考」に VPP トークンの取得に使用した Apple ID を記録します。
 - 【6】 「保存」をクリックします。
- ⇒ 設定が保存されます。



🔪 手順【3】から【6】の詳細は、以下を参照してください。
📖 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定ーiOS」－「VPP ライセンス」

【7】作成された設定が、一覧に追加されたことを確認してください。



1.1.3 VPP ライセンスの確認

VPP トークンアップロード後、「アプリケーション」タブをクリックすると、VPP で購入したアプリケーションが一覧で表示されます。「端末とユーザーの関連付け」でこれらのアプリケーションをユーザーに割当します。

【1】 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] → 一覧から対象を選択します。

【2】 「アプリケーション」タブをクリックします。

⇒ 「アプリケーション」タブの下に購入したアプリケーション一覧が表示されます。

The screenshot shows the VPP management interface. On the left, the 'iOS 設定' (iOS Settings) menu is expanded, and 'VPPライセンス' (VPP Licenses) is selected. The main content area displays the 'アプリケーション' (Applications) tab, which lists purchased applications. The table has the following columns: Store ID, アプリケーション名 (Application Name), 所持数 (Quantity), 使用数 (Usage), 残数 (Remaining), 未割当数 (Unassigned), and 回収可能数 (Recoverable). The table is paginated, showing 1 of 2 pages.

Store ID	アプリケーション名	所持数	使用数	残数	未割当数	回収可能数
		5	0	5	0	0
		5	0	5	0	0
		100	0	100	0	0
		100	0	100	0	0
		106	1	105	0	1
		205	0	205	0	0
		253	0	253	0	0
		5	0	5	0	0
		5	0	5	0	0
		500	0	500	2	0
		500	0	500	0	0
		500	0	500	0	0
		100	0	100	0	0
		100	0	100	0	0
		5	0	5	0	0
		20	0	20	0	0
		100	0	100	0	0
		100	0	100	0	0
		5	0	5	0	0
		100	0	100	0	0

1.1.4 端末とユーザーの関連付け

VPP ライセンスは、ユーザー、組織、機器に対して割り当てます。

◆機器に割り当てる場合

ユーザー（組織）を選択しない場合は、[機器] に VPP ライセンスを割り当てます。詳細は、以下を参照してください。

📖『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定-iOS」-「VPP ライセンス」

✍️ユーザー（組織）を選択している場合は、[機器] の VPP 設定はユーザー（組織）で設定した VPP ライセンスが表示され、編集はできません。

◆ユーザーに割り当てる場合

ユーザーを作成し、[機器] の「所属」オプションで「ユーザー」を選択し、機器との紐付けを行ってください。詳細は、以下を参照してください。

📖『管理サイト リファレンス マニュアル』の「機器」-「機器の管理情報」

The screenshot displays the 'Device Management' interface. The main area shows a table of devices with columns: 機器名 (Device Name), OS, 電話番号 (Phone Number), ユーザー (User), 組織 (Organization), and 通信日時 (Communication Date/Time). The right sidebar, titled '管理情報' (Management Information), contains a '機器名' (Device Name) field and a '所属' (Affiliation) dropdown menu. The '所属' dropdown is currently set to 'ユーザー' (User) and is highlighted with a red box. Below the dropdown are buttons for '保存' (Save) and '取消' (Cancel).

◆組織に割り当てる場合

組織を作成し、[機器]の「所属」オプションで「組織」を選択し、機器との紐付けを行ってください。詳細は、以下を参照してください。

📖『管理サイト リファレンス マニュアル』の「機器」－「機器の管理情報」

機器

機器名

検索 絞り込み

検索条件:

1 / 1 ページ (15 件)

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
...	約1時間前	...
...	10日前 (管理外)	...
...	約8時間前	...
...	7日前 (管理外)	...
...	11日前 (管理外)	...
...	約21時間前	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...
...	2日前	...
...	1日前	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...

管理情報

機器名

所属

● ユーザー

● 組織

機器カスタム項目A

保存

取消

ただし、組織を活用する場合、「ユーザー」で所属する「組織」を設定する必要があります。

ユーザー

検索: ユーザー名
昇順: ユーザー名

入力項目のカスタマイズ

CSVで追加

CSVで編集

CSVをダウンロード

管理

VPP設定

その他

操作

管理情報

名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

管理者

組織

本社

機器認証制限

編集

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

機器数

1

1.1.5 ライセンスの仮割当・割当の反映

ユーザー（組織）、または機器に対してライセンスを割当します。アプリライセンス付与は 3 ステップあります。

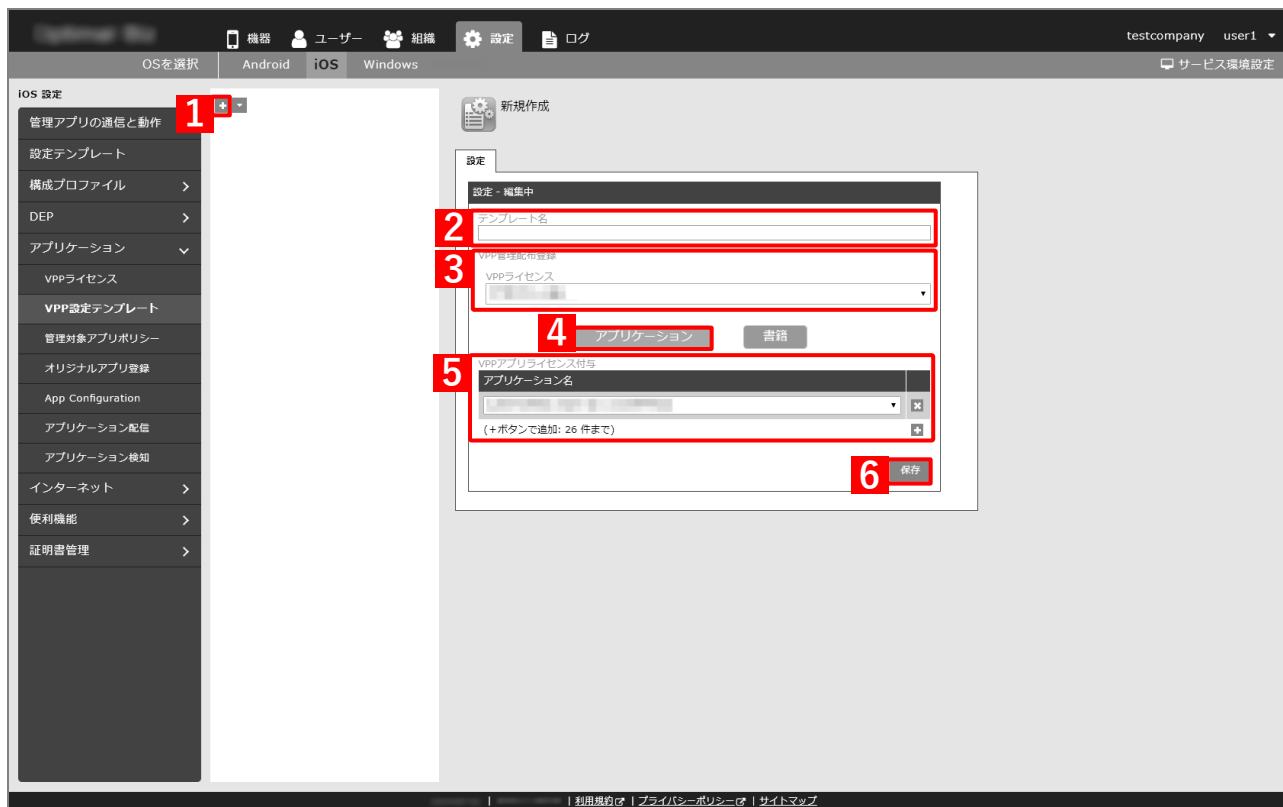
1. VPP テンプレートの作成（任意設定）
2. ライセンスの仮割当（ユーザー／組織／機器）
3. ライセンスの割当を反映

1.1.5.1 VPP テンプレートの作成（任意設定）

各ユーザー（組織）、または機器に対してアプリのライセンスを付与するには、複数のアプリをまとめたテンプレートを事前に作成することで効率的に「ユーザー」、**「組織」**、または「機器」で設定できます。詳細は、以下を参照してください。

📖『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定→iOS」－「VPP ライセンス」

- 【1】** 「設定」→「iOS」→「アプリケーション」→「VPP 設定テンプレート」→ **+** をクリックします。
- 【2】** 「テンプレート名」に任意のテンプレート名を入力します。
- 【3】** 「VPP 管理配布登録」の「VPP ライセンス」にアップロードした VPP トークンをプルダウンメニューから指定します。
- 【4】** 「アプリケーション」をクリックします。
- 【5】** 「VPP アプリライセンス付与」にテンプレートへ含めるアプリケーションを追加します。
- 【6】** 「保存」をクリックします。



1.1.5.2 ライセンスの仮割当（ユーザー／組織／機器）

[ユーザー] の「VPP 設定」タブ、[組織] の「その他▼」→ [VPP 設定]、または [機器] の機器の詳細の
② → 「設定」→ [他の設定を見る] → [VPP 設定] からライセンスの仮割当を行います。

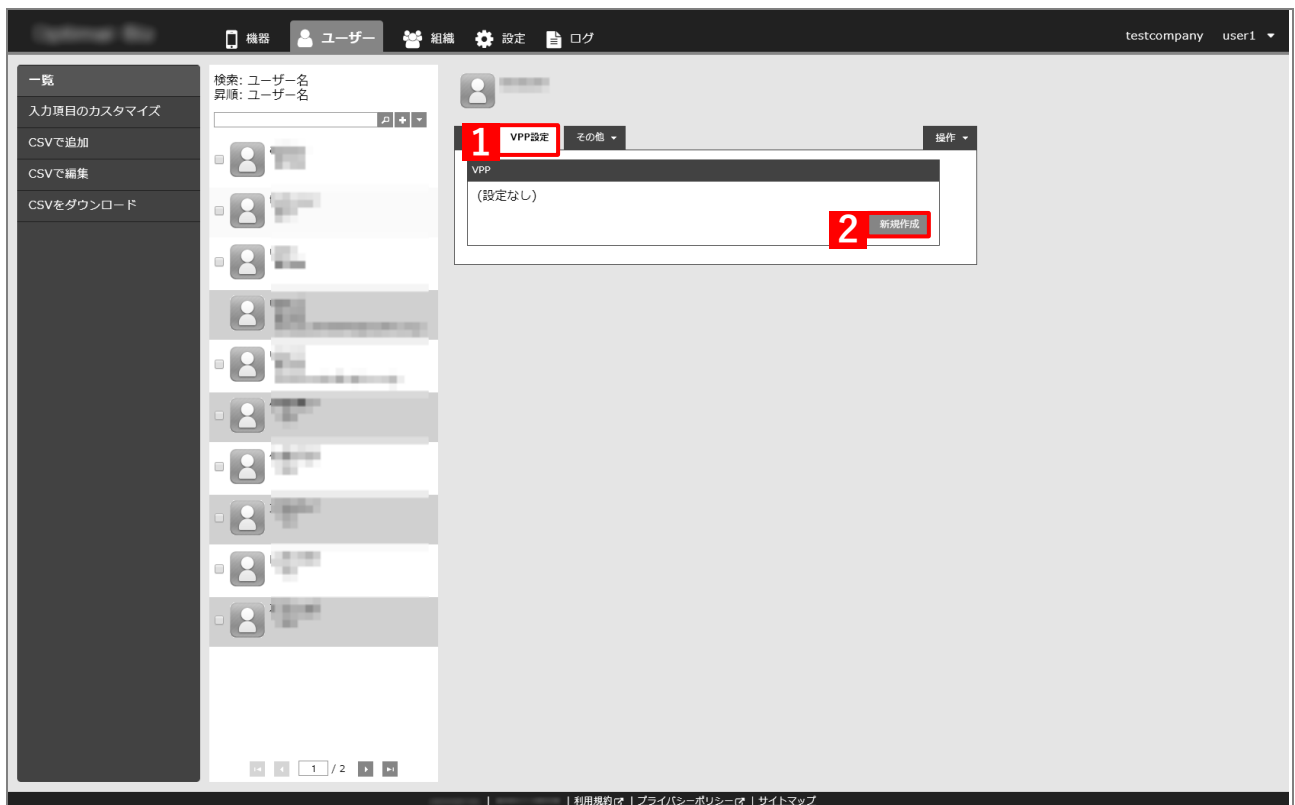
設定には 2 つの手順があり、状況にあわせて選択してください。

- VPP 設定テンプレートを使用する場合
- VPP 設定テンプレートを使用しない場合

どちらの手順でも作業が終わりましたら、「仮割当したライセンスの反映」へ続きます。

《VPP 設定テンプレートを使用する場合》

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象を選択 → 「VPP 設定」タブをクリックします。
- 【2】** [新規作成] をクリックします。

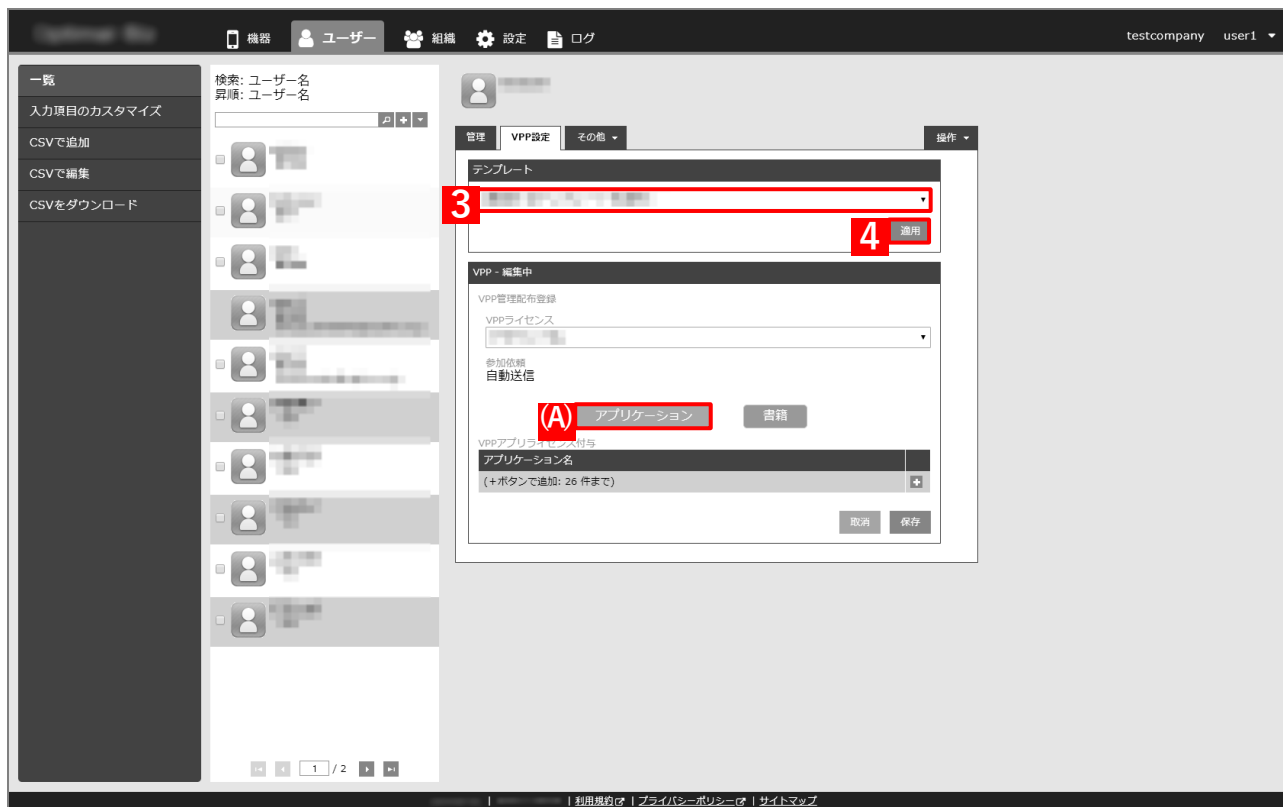


【3】「テンプレート」にプルダウンメニューから作成したテンプレートを指定します。

✎ [組織] の [その他▼] → 「VPP 設定」 の場合、「VPP ライセンス付与対象」に「ユーザー」または「機器」を選択します。

✎ (A) [アプリケーション] が選択されている状態で作業を行います。

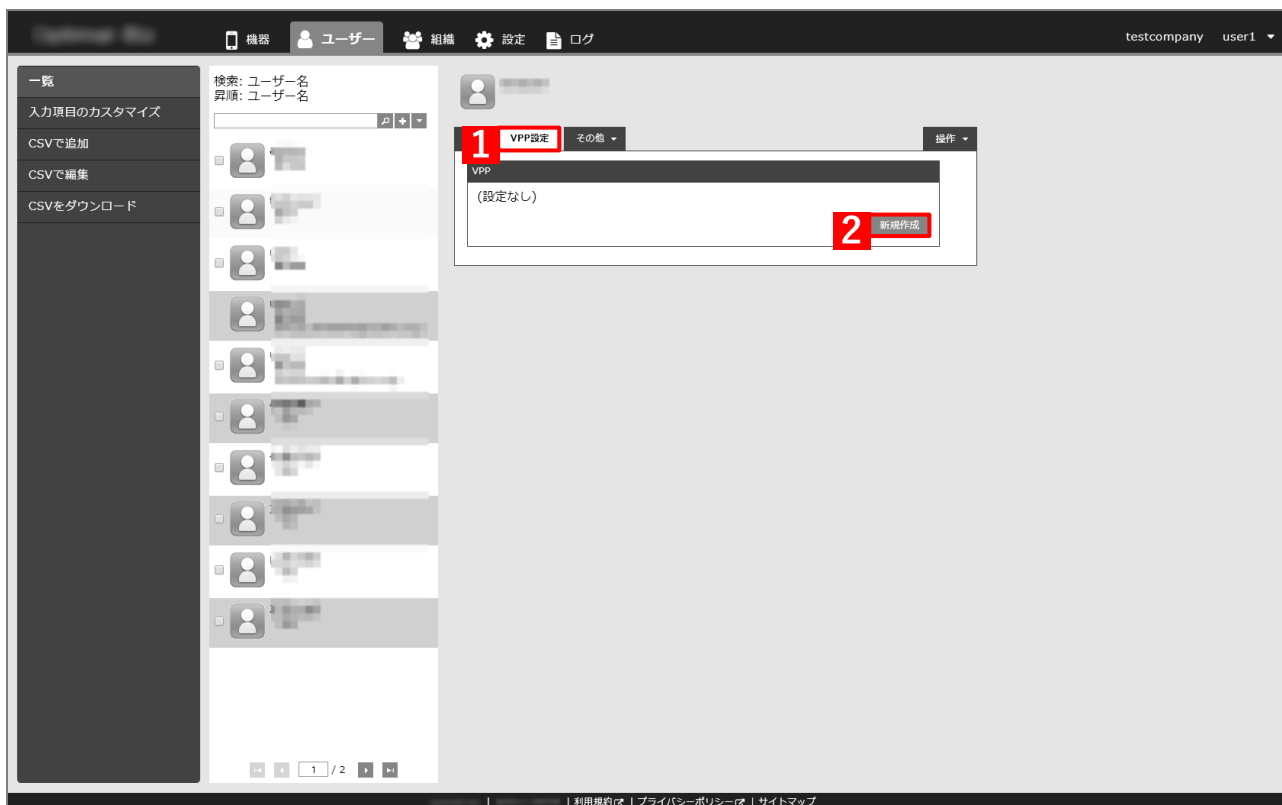
【4】 [適用] をクリックします。



【5】「仮割当したライセンスの反映」に続きます。

《VPP 設定テンプレートを使用しない場合》

- 【1】 [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象を選択 → 「VPP 設定」 タブをクリックします。
- 【2】 [新規作成] をクリックします。



【3】 「VPP ライセンス」 にアップロードした VPP トークンを指定します。

✎ [ユーザー] の場合のみ、「参加依頼」はユーザーに複数の iOS 機器が紐付けられていると、どの iOS 機器に参加依頼が送付されるかを選択します。

- ・ 自動送信：最初に同期した端末が VPP サービスに参加します。(Apple ID が異なることを想定)
- ・ 手動送信：どの端末を VPP サービスに参加させるかを選択できます。

✎ [組織] の場合のみ、VPP ライセンスを付与する対象を「ユーザー」または「機器」から選択します。

✎ [ユーザー] の場合のみ、構成プロファイルアップロードで、App Store を表示させないようにする制限項目（「App のインストールを許可」または「App Store からの App インストールを許可」）を有効にしていると、VPP の参加依頼を完了できませんのでご注意ください。

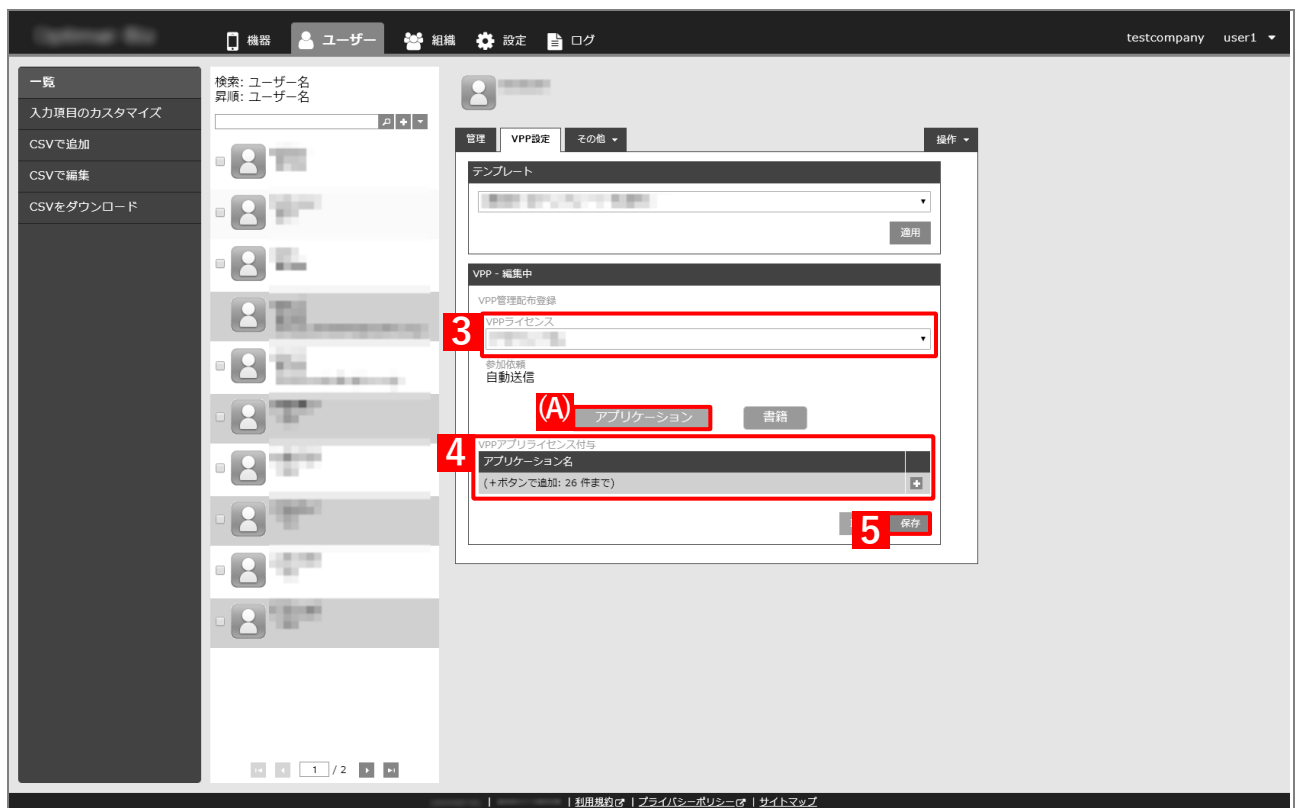
【4】 「VPP アプリライセンス付与」の「アプリケーション名」にアプリケーションを追加します。

✎ + をクリックすると、新規に追加できます。

✎ ✕ をクリックすると、追加したアプリケーションを削除できます。

✎ (A) [アプリケーション] が選択されている状態で作業を行います。

【5】 配布するアプリケーションをすべて追加したら、「保存」をクリックします。



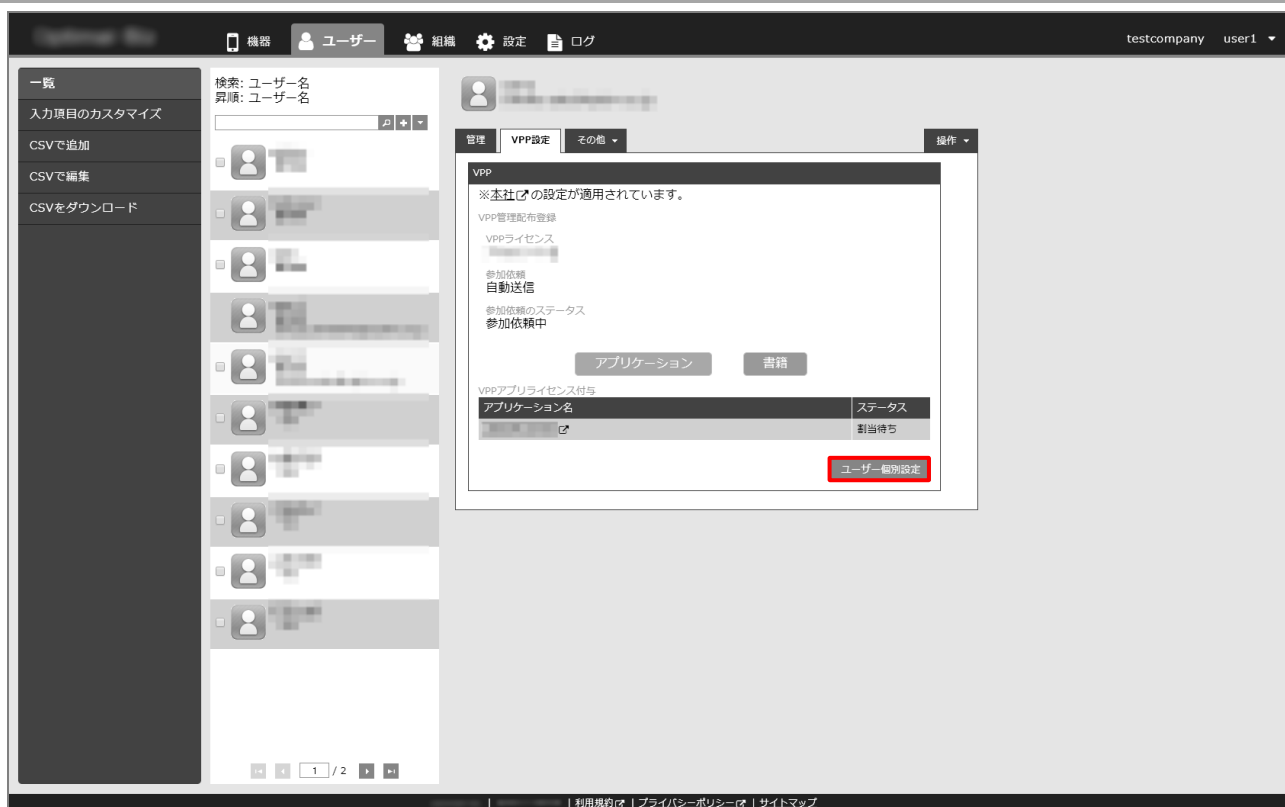
【6】 「仮割当したライセンスの反映」に続きます。

1.1.5.3 仮割り当てたライセンスの反映

仮割り当てたライセンスを反映します。

- ❑ ユーザー、機器、組織、すべてに VPP 設定がされていた場合、優先順位は「ユーザー＞機器＞組織」で設定されます。機器、組織に VPP 設定を行う場合は、事前にユーザーや機器に、すでに VPP アプリライセンスが付与されていない状態であることを確認してください。
- ❑ ユーザーまたは機器が所属している組織に、すでに VPP 設定が適用されている場合、VPP 設定画面には組織で設定した VPP 設定詳細が表示されます。組織の設定を無視して個別の VPP 設定を適用する場合は、「ユーザー」画面の場合は「ユーザー個別設定」を、「機器」画面の場合は「機器個別設定」をクリックしてください。

《 [ユーザー] の場合 》



《 [機器] の場合 》

機器

ユーザー

組織

設定

ログ

一覧

ネットワークマップ

認証手順

全機器一括設定

入力項目のカスタマイズ

メッセージ通知

CSVで追加

CSVで編集

CSVをダウンロード

機器

機器名

検索

絞り込み

検索条件:

1 / 1 ページ (15 件)

■	機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
<input type="checkbox"/>						約5時間前	⌵
<input type="checkbox"/>						10日前 (管理外)	⌵
<input type="checkbox"/>						約11時間前	⌵
<input type="checkbox"/>						7日前 (管理外)	⌵
<input type="checkbox"/>						11日前 (管理外)	⌵
<input type="checkbox"/>						1日前	⌵
<input type="checkbox"/>						(認証待ち)	⌵
<input type="checkbox"/>						(認証待ち)	⌵
<input type="checkbox"/>						3日前	⌵
<input type="checkbox"/>						1日前	⌵
<input type="checkbox"/>						(認証待ち)	⌵
<input type="checkbox"/>						(認証待ち)	⌵
<input type="checkbox"/>						(認証待ち)	⌵
<input type="checkbox"/>						(認証待ち)	⌵

VPP設定

※本社の設定が適用されています。

VPP管理配布登録

VPPライセンス

VPPアプリライセンス付与

アプリケーション名	ステータス
	割当待ち

機器個別設定

利用規約

プライバシーポリシー

サイトマップ

1.1.5.4 ライセンスの割当を反映

「仮割当したライセンスの反映」で設定した仮割当を本割当として反映します。

- [1]** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] → 一覧から対象を選択 → 「アプリケーション」タブを表示します。
- [2]** 該当アプリケーションの「未割当数」が「1」以上の数値であることを確認します。
☐ 「0」の場合は反映する仮割当がありません。
- [3]** [更新] をクリックしてください。
 ⇒ 「未割当数」が「0」になり、「使用数」カラムの数値が反映されたライセンス数に合わせて増加します。

The screenshot shows the VPP application management interface. On the left is a sidebar with navigation options. The main area displays a table of applications. A red box labeled '1' highlights the 'アプリケーション' tab. Another red box labeled '2' highlights the '未割当数' (Unassigned Count) column. A third red box labeled '3' highlights the '更新' (Update) button. The table has columns: Store ID, アプリケーション名, 所持数 (Held Count), 使用数 (Used Count), 未割当数 (Unassigned Count), and 回収可能数 (Recyclable Count). The table shows several applications with varying counts.

Store ID	アプリケーション名	所持数	使用数	未割当数	回収可能数
5		0	0	4	0
5		0	5	0	0
100		0	100	0	0
100		0	100	0	0
106		1	105	0	1
205		0	205	0	0
253		0	253	0	0
5		0	5	0	0
5		0	5	0	0
500		0	500	1	0
500		0	500	0	0
500		0	500	0	0
100		0	100	0	0
100		0	100	0	0
5		0	5	0	0
20		0	20	0	0
100		0	100	0	0
100		0	100	0	0
5		0	5	0	0
100		0	100	0	0

- ☒ 「所持数」が「未割当数」を下回る場合、ライセンス付与はできません。その場合、ライセンスの回収を行ってライセンスが付与されたユーザーまたは機器を減らしてください。詳しくは、以下を参照してください。

☐ 「ライセンスの回収」 21 ページ

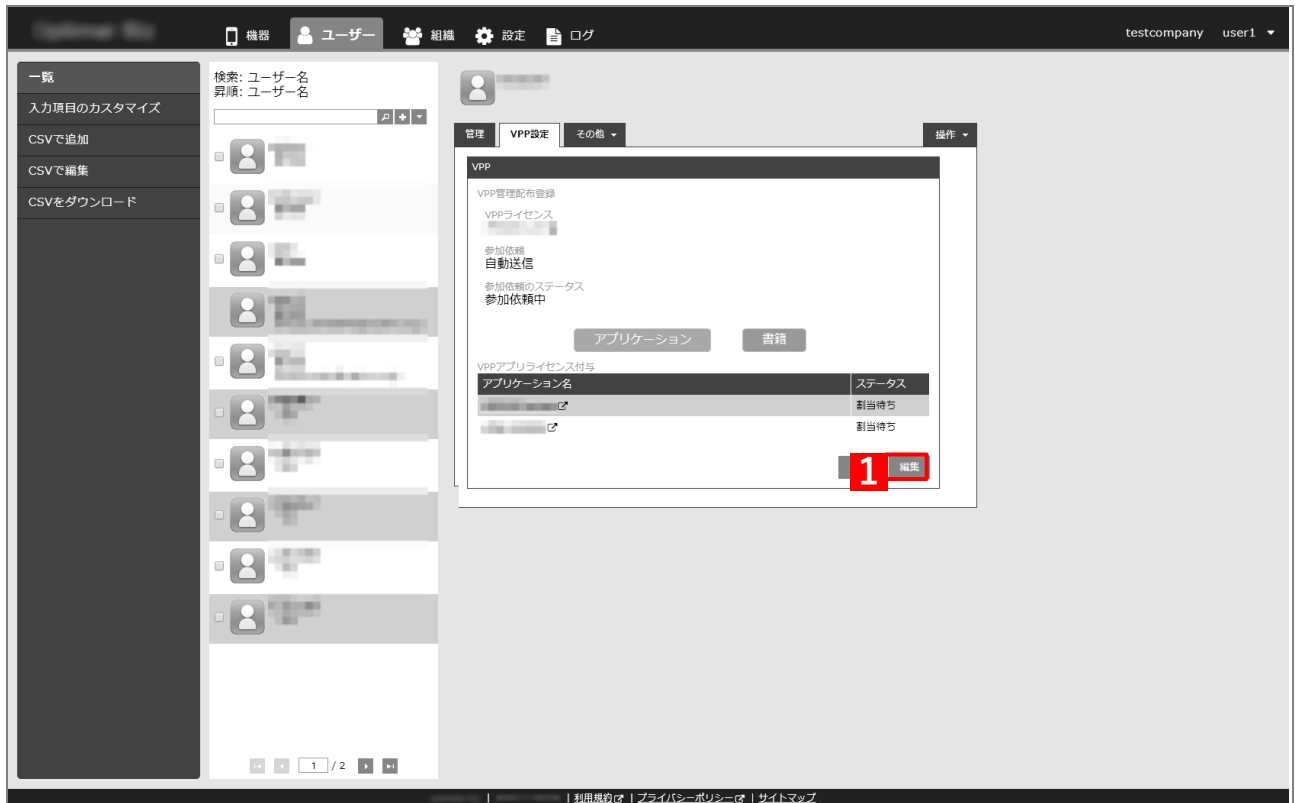
- ☒ 画面が変更されない場合は、画面を再読み込みしてください。
- ☒ 仮割当を行ったあとも「未割当数」に反映されない場合は、対象ユーザーまたは対象機器の「VPP 設定」タブの設定をご確認ください。すでに空の VPP アプリケーションのライセンスなどが割当済みの場合、「未割当数」が正しく更新されない場合があります。

1.1.6 ライセンスの回収

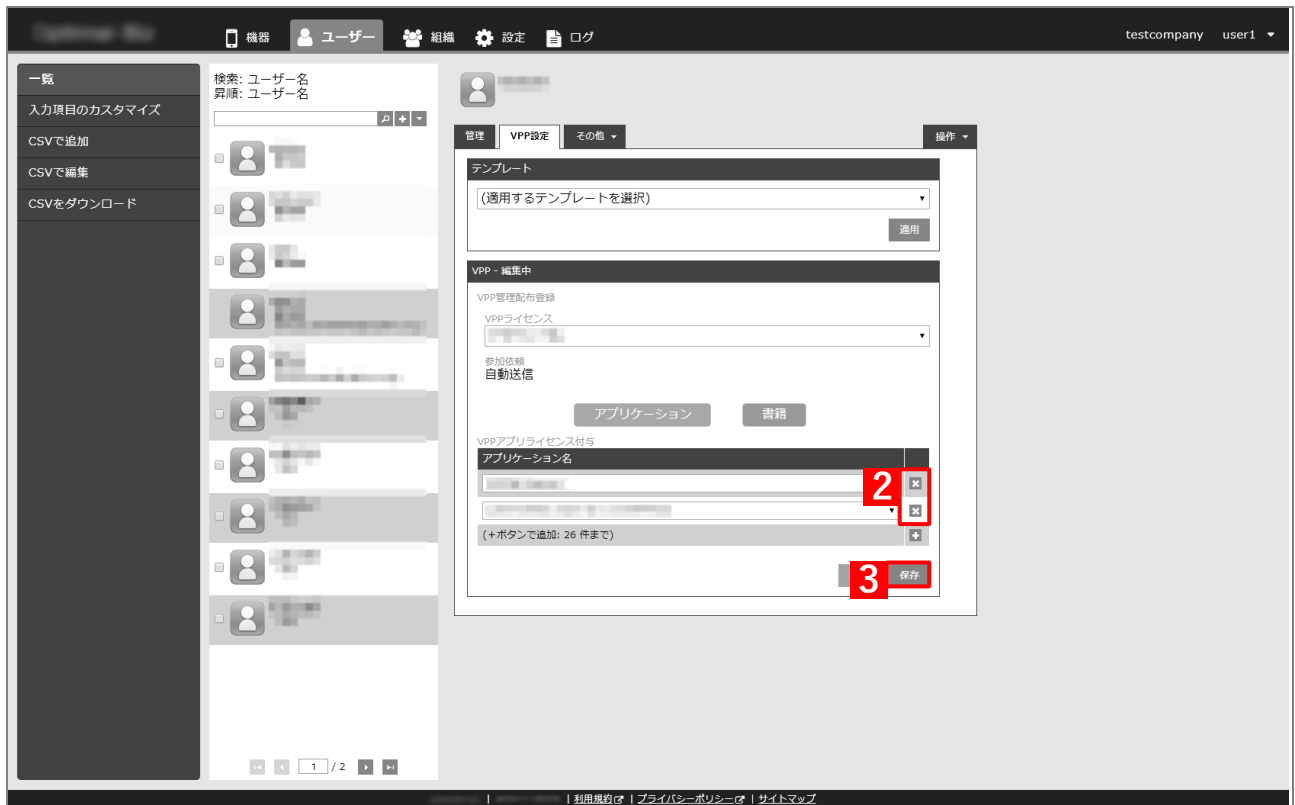
ライセンスが付与されたユーザーを減らすことで、ライセンスの回収を行います。

ライセンスの仮割當時と同様に、[ユーザー] の「VPP 設定」タブ、[組織] の「その他▼」→ [VPP 設定]、または [機器] の「機器」の詳細の (🔍) → 「設定」→ [他の設定を見る] → [VPP 設定] から割当てたアプリケーションを削除します。

【1】 [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象を選択 → 「VPP 設定」タブ → [編集] をクリックします。



- 【2】「VPP アプリライセンス付与」から回収するライセンスの **✕** をクリックします。
⇒回収するライセンスが一覧から削除されます。
- 【3】「保存」をクリックします。



- 【4】** 仮回収したライセンスを反映させます。[設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] → 一覧から対象を選択 → 「アプリケーション」タブを表示します。
- 【5】** 該当アプリケーションの「回収可能数」が「1」以上の数値であることを確認します。
 ✎ 「0」の場合は反映する回収がありません。
- 【6】** [更新] をクリックしてください。
 ⇒ 「回収可能数」が「0」になり、「使用数」カラムの数値が反映されたライセンス数に合わせて減少します。

最終更新日時: 2018/03/26 14:28:43

Store ID	アプリケーション名	所持数	使用数	残数	回収可能数
		5	0	5	0
		5	0	5	0
		100	0	100	0
		100	0	100	0
		106	1	105	1
		205	0	205	0
		253	0	253	0
		5	0	5	0
		5	0	5	0
		500	0	500	1
		500	0	500	0
		500	0	500	0
		100	0	100	0
		100	0	100	0
		5	0	5	0
		20	0	20	0
		100	0	100	0
		100	0	100	0
		5	0	5	0
		100	0	100	0

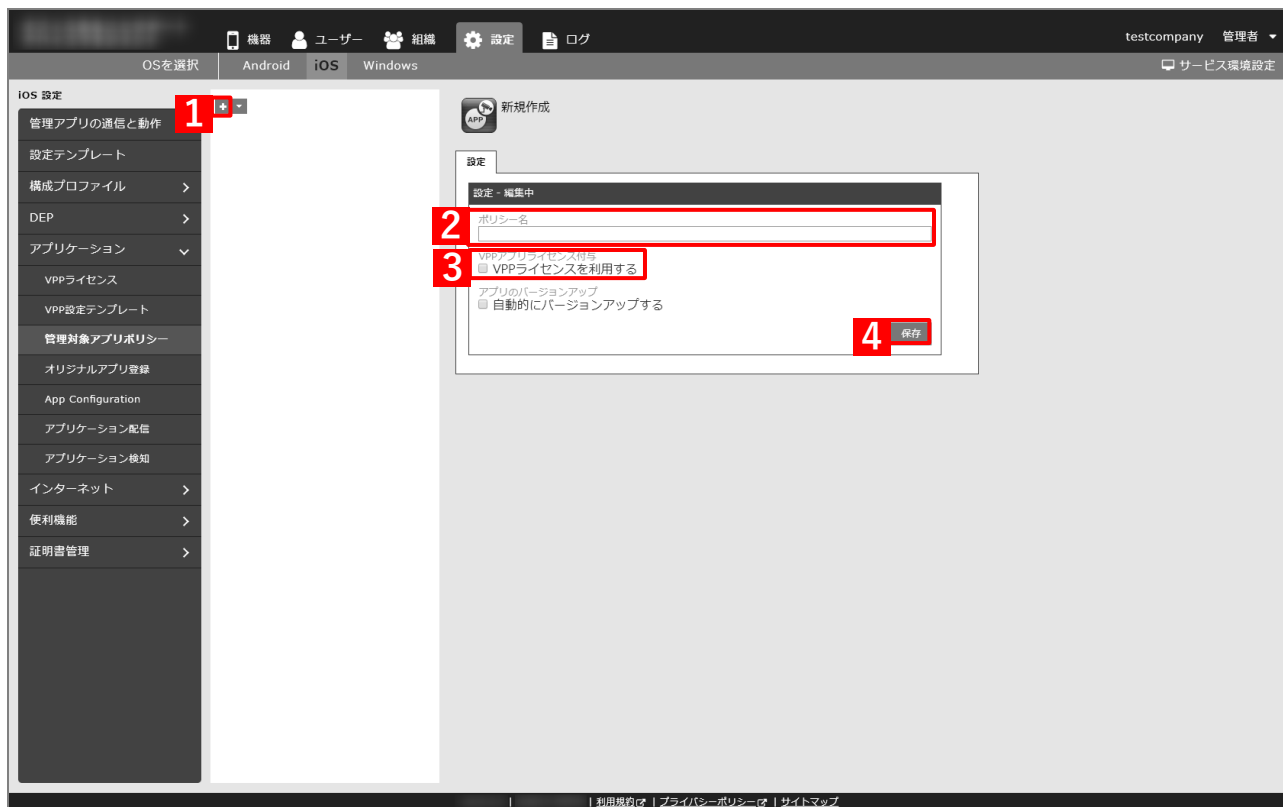
- ✎ 画面が変更されない場合は、画面を再読み込みしてください。
- ✎ 仮割当を行ったあとも「回収可能数」に反映されない場合は、対象ユーザーまたは対象機器の「VPP 設定」タブの設定をご確認ください。すでに空の VPP アプリケーションのライセンスなどが割当済みの場合、「回収可能数」が正しく更新されない場合があります。

1.1.7 管理対象アプリポリシーの作成

アプリケーション配信の準備を進めます。


まずは VPP ライセンスの利用オプションが有効に設定されたアプリポリシーを作成します。

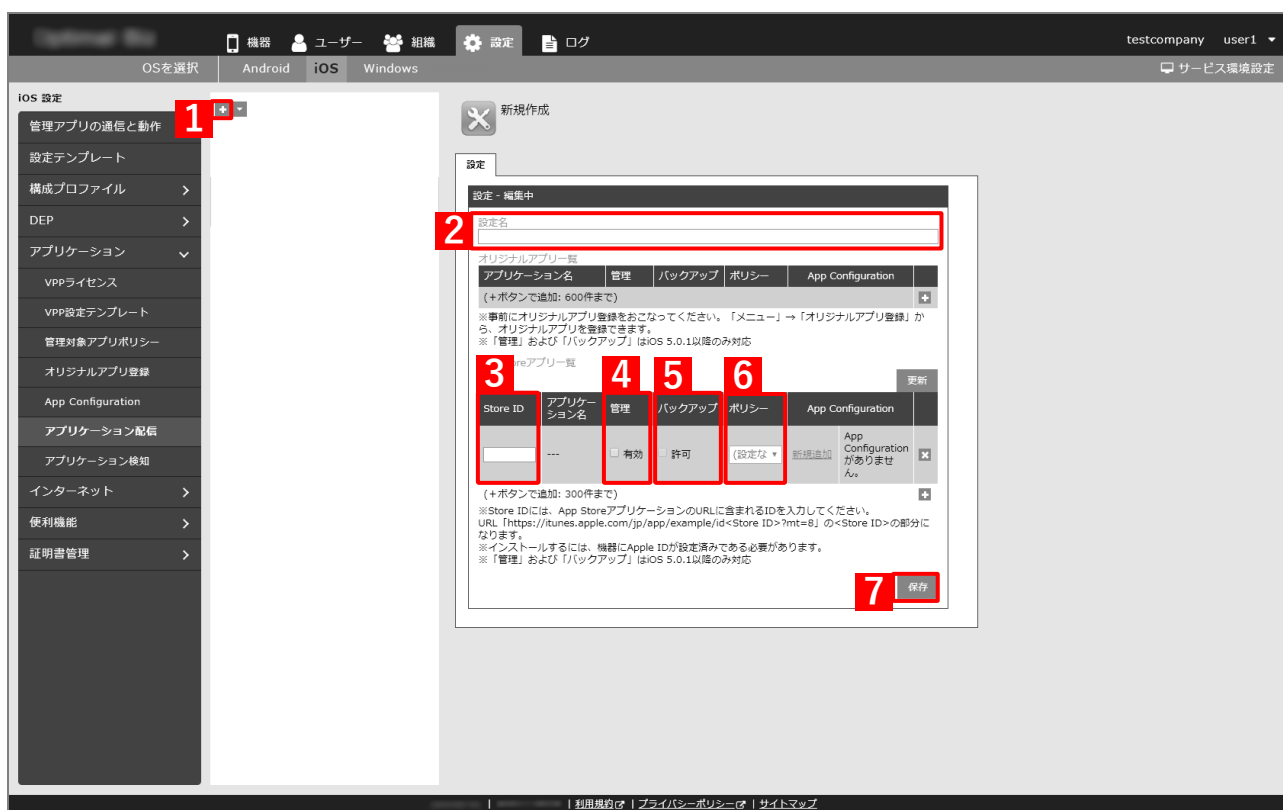
- 【1】 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [管理対象アプリポリシー] → **+**をクリックします。
- 【2】 「ポリシー名」に任意のポリシー名を入力します。
- 【3】 「VPP アプリライセンス付与」の「VPP ライセンスを利用する」は、必ずチェックを入れてください。このアプリポリシーは「アプリケーション配信設定」で指定します。
- 【4】 [保存] をクリックします。



1.1.8 アプリケーション配信設定の作成

アプリケーション配信設定を作成します。

- [1]** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [アプリケーション配信] → **+** をクリックします。
- [2]** 「設定名」に任意の名称を入力します。
- [3]** 「Store ID」に配信するアプリケーションの Store ID を入力します。
 詳細は以下を参照してください。
[『管理サイト リファレンス マニュアル』](#)の「設定-iOS」-「アプリケーション」-「アプリケーション検知」-「アプリケーション ID の調べ方」
- [4]** 「管理」の「有効」は、必ずチェックを入れてください。
- [5]** 「バックアップ」を許可する場合は、「許可」にチェックを入れます。
- [6]** 「ポリシー」で先程の「管理対象アプリポリシーの作成」で作成したアプリポリシーを指定します。
- [7]** [保存] をクリックします。




The screenshot shows the 'iOS 設定' (iOS Settings) page in the management console. The left sidebar has a menu with 'アプリケーション' (Applications) expanded, and 'アプリケーション配信' (Application Distribution) selected. The main area shows the '新規作成' (New Creation) dialog for '設定 - 編集' (Settings - Edit). The dialog has several fields and a table:


- Callout 1:** Points to the '設定' (Settings) tab in the top navigation bar.
- Callout 2:** Points to the '設定名' (Setting Name) input field.
- Callout 3:** Points to the 'Store ID' input field in the table.
- Callout 4:** Points to the '管理' (Management) column in the table.
- Callout 5:** Points to the 'バックアップ' (Backup) column in the table.
- Callout 6:** Points to the 'ポリシー' (Policy) column in the table.
- Callout 7:** Points to the '保存' (Save) button at the bottom right of the dialog.

The table 'オリジナルアプリ一覧' (Original App List) has the following structure:


アプリケーション名	管理	バックアップ	ポリシー	App Configuration
(+ボタンで追加: 600件まで)				
※事前にオリジナルアプリ登録をおこなってください。『メニュー』→「オリジナルアプリ登録」から、オリジナルアプリを登録できます。 ※「管理」および「バックアップ」はiOS 5.0.1以降のみ対応				
Store ID	管理	バックアップ	ポリシー	App Configuration
---	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 許可	(設定なし)	App Configurationがありません
(+ボタンで追加: 300件まで)				
※Store IDには、App StoreアプリケーションのURLに含まれるIDを入力してください。 URL [https://itunes.apple.com/jp/app/example/id<Store ID>?mt=8] の<Store ID>の部分になります。 ※インストールするには、機器にApple IDが設定済みである必要があります。 ※「管理」および「バックアップ」はiOS 5.0.1以降のみ対応				

1.1.9 アプリケーション配信設定を割当

機器に対してアプリケーション配信を行う場合、[機器]の該当機器の「詳細」の  → [その他▼]の「設定」の「設定の割り当て」からアプリケーション配信設定を割当てます。

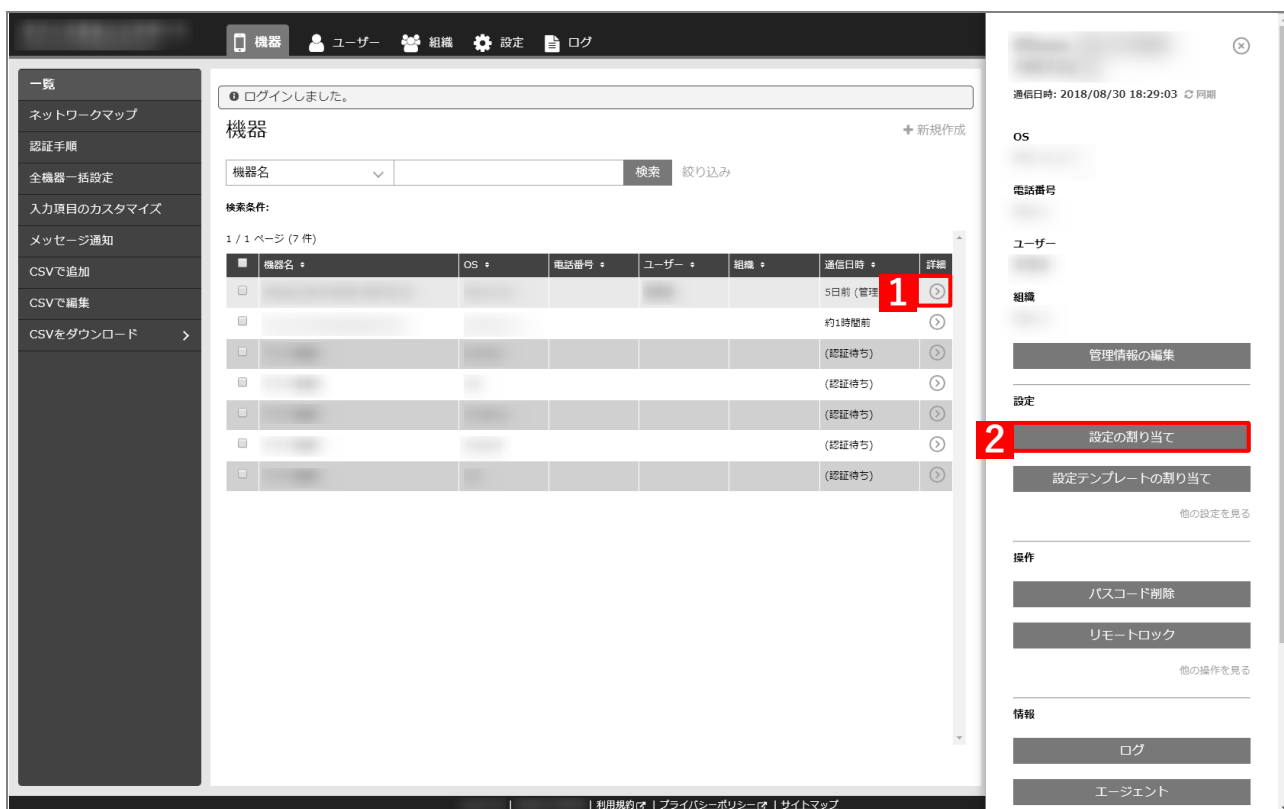
 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の設定」

組織に対してアプリケーション配信を行う場合、[組織]の[iOS 設定]を選択します。

 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「組織」－「一覧」－「VPP の付与状況」


【1】 [機器] → [一覧] → 機器の「詳細」の  をクリックします。

【2】 「設定」→「設定の割り当て」をクリックします。



管理サイトのスクリーンショット。左側にはメニューがあり、中央には「機器」の一覧が表示されています。右側には「設定」のサイドメニューがあり、「設定の割り当て」が赤枠で囲まれています。

中央の「機器」一覧表のヘッダーと最初の行は以下の通りです。

機番	機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
1	XXXXXXXXXX	iOS	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	5日前 (管理)	

右側の「設定」メニューには、以下の項目があります。

- 管理情報の編集
- 設定
 - 設定の割り当て** (赤枠)
 - 設定テンプレートの割り当て
- 他の設定を見る
- 操作
 - パスコード削除
 - リモートロック
 - 他の操作を見る
- 情報
 - ログ
 - エージェント

【3】 [編集] をクリックします。

The screenshot shows the VPP management interface. On the left is a sidebar with navigation links. The main area displays a table of devices under the '機器' (Device) tab. On the right, a sidebar titled '設定の割り当て' (Setting Assignment) lists various settings. The 'アプリケーション配信' (Application Distribution) setting is selected, and its '編集' (Edit) button is highlighted with a red box.

【4】 「アプリケーション配信設定の作成」で作成したアプリケーション配信設定を指定します。

☑組織に対して設定セットを当てる場合は、[機器] の「アプリケーション配信」の設定は「(所属組織に従う)」である必要があります。[保存] をクリックします。


【5】 [保存] をクリックします。

☑キャンセルする場合は、[取消] をクリックします。


The screenshot shows the VPP management interface. On the left is a sidebar with navigation links. The main area displays a table of devices under the '機器' (Device) tab. On the right, a sidebar titled '設定の割り当て' (Setting Assignment) lists various settings. The 'アプリケーション配信' (Application Distribution) setting is selected, and its dropdown menu is open, showing the selected option '(所属組織に従う:設定なし)'. The '保存' (Save) button is highlighted with a red box.

1.1.10 iOS 端末での割当許可

VPP ライセンスをユーザーに割当てた場合は、管理サイトの [機器] からの同期の実行後に、以下の画面が端末に表示されます。以下のように同意を行う必要があります。（VPP ライセンスを機器に割当てた場合は、以下の画面は表示されずにアプリケーションが配信されます。）


 本画面は機器に対して直接 VPP ライセンスを適用した場合は表示されません。


【1】 [続ける] をタップします。


 掲載されている割り当て許可の要求画面は iOS 11 での表示です。
iOS のバージョンにより、要求画面が異なる場合がございます。



【2】 Apple 社からのアプリケーションに関する使用条件とのプライバシーポリシーが表示されます。一番下までスクロールして、[同意する] をタップします。

 初回配布時に同意していただければ、以後表示されません。途中でキャンセルされた場合は、管理サイトからの同期時に再度表示されます。
（ユーザーを削除しない限り、再度行う必要はありません）

 同意後は、端末が「監視モード」に設定されていればサイレントインストールができるようになります。

 アプリケーション配布のタイミング：
アプリケーションは [同意する] をタップしたあとの同期時に配布されます。同期のタイミングは端末の通信状況などに依存します。



1.2 VPP 書籍の配信手順

Apple 社の提供する Volume Purchase Program (VPP) では、有料の書籍ライセンス管理・配布を行うことができます。VPP を利用することで有料の書籍ライセンスを大量に購入し、複数のユーザーまたは組織を対象に同時に配布することができるようになります。

- ❗ 本機能以外（他の MDM など）によってライセンスの付与・ユーザーの招待が行われた場合は、管理対象外となります。
- ❗ 本機能によってライセンスが付与されていても、App Store から書籍の配信が取り消された場合は配信できません。
- ❗ トークンの有効期間は 1 年間です。Apple Push 証明書と同様に 1 年に 1 回の更新が必要です。

1.2.1 VPP トークン

VPP トークンとは、VPP アカウントを管理サイトにリンクするためのトークンです。

VPP トークンには VPP プログラムで購入したライセンスの種類や数量に関する情報が含まれています。この VPP トークンを「VPP ライセンス」からアップロードすることで、VPP のライセンス管理・配布を管理サイト内で行うことができます。

📖 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定—iOS」—「VPP ライセンス」

Apple から VPP トークンを入手するには、事前に以下の準備が必要です。

- メールアドレスの準備
- D-U-N-S ナンバーの登録（登録制の標準企業コードです。登録には数日かかる場合があります。）

準備ができれば「<https://www.apple.com/jp/business/programs/#vpp/>」から Apple の Volume Purchase Program へのアカウント登録を行います。アカウントの発行まで 2、3 時間かかる場合があります。アカウントの登録が完了したら、VPP ライセンスを使用した書籍の一括購入ができるようになります。

書籍の購入後に VPP トークンをダウンロードします。

1.2.2 VPP トークンのアップロード

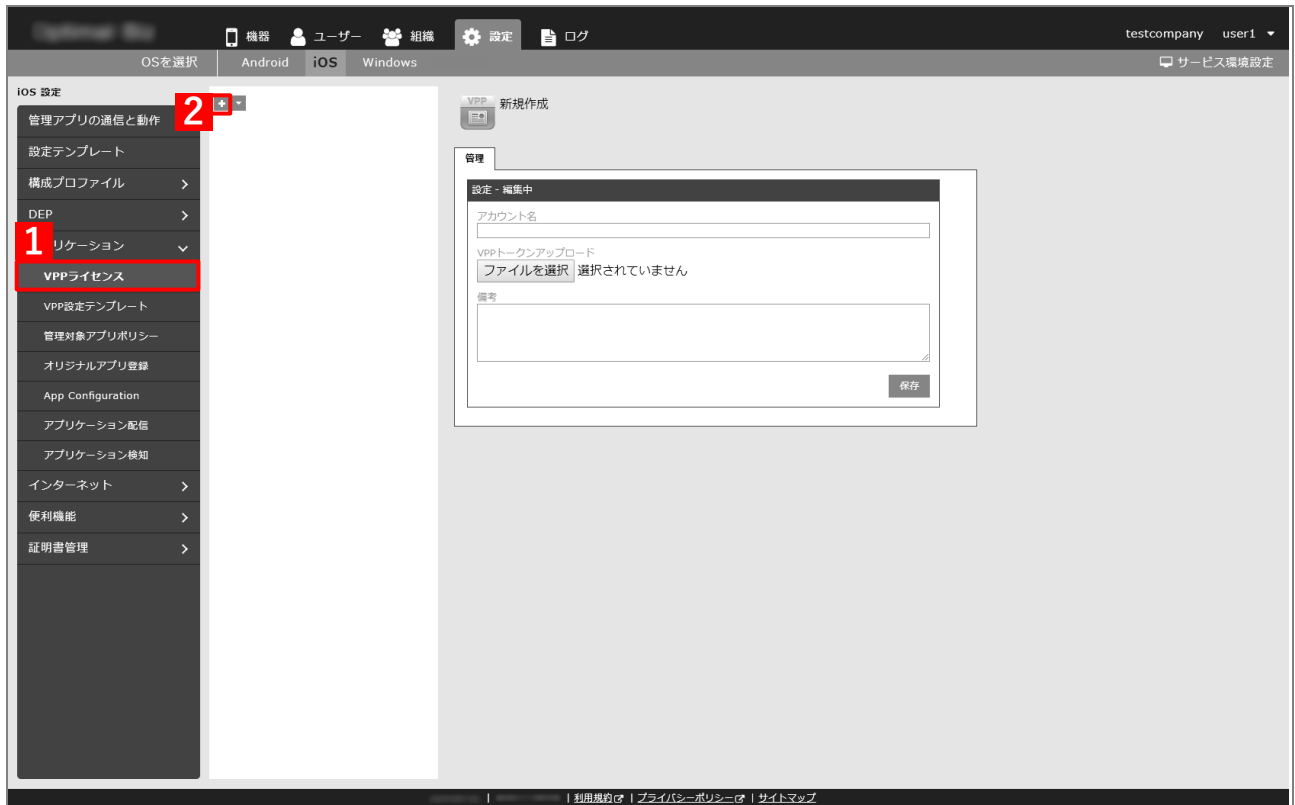
VPP トークンをアップロードします。

📌 VPP ライセンスは 500 件まで登録できます。

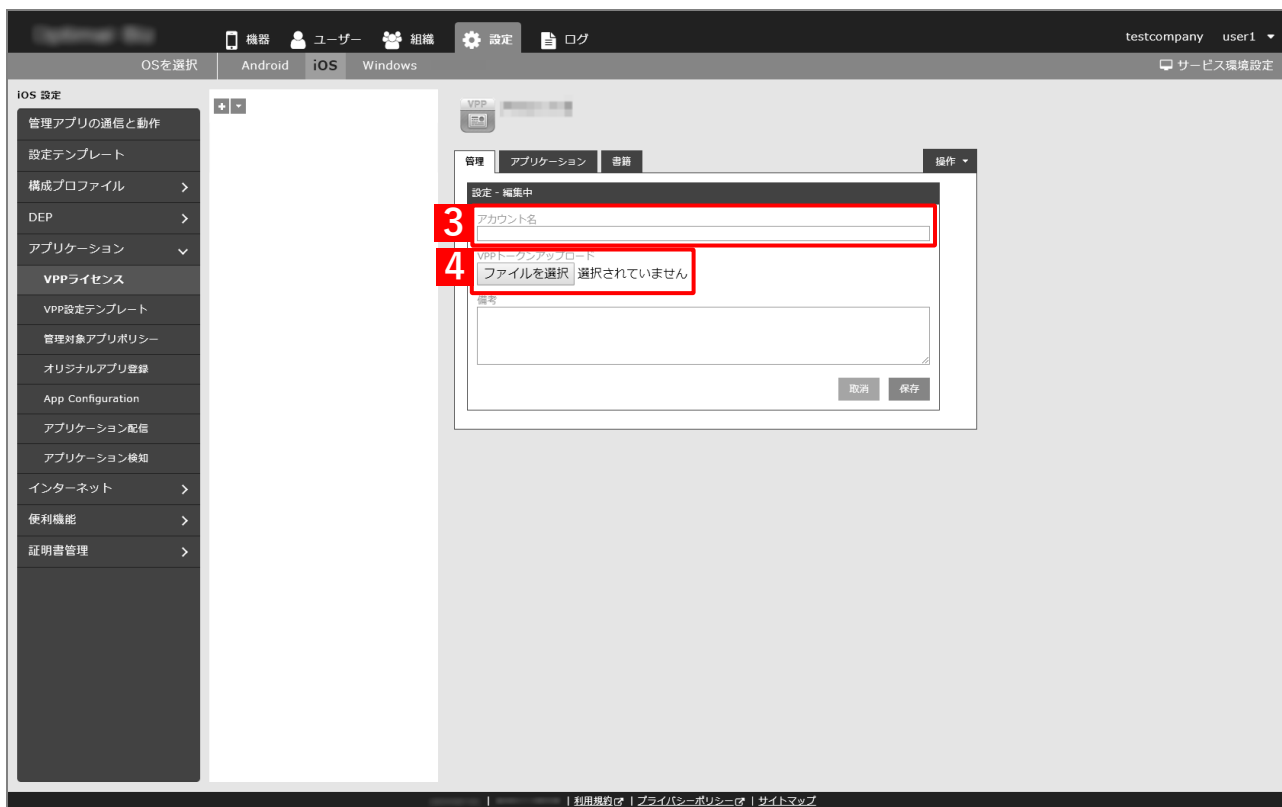
【1】 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] をクリックします。

【2】 **+** をクリックします。

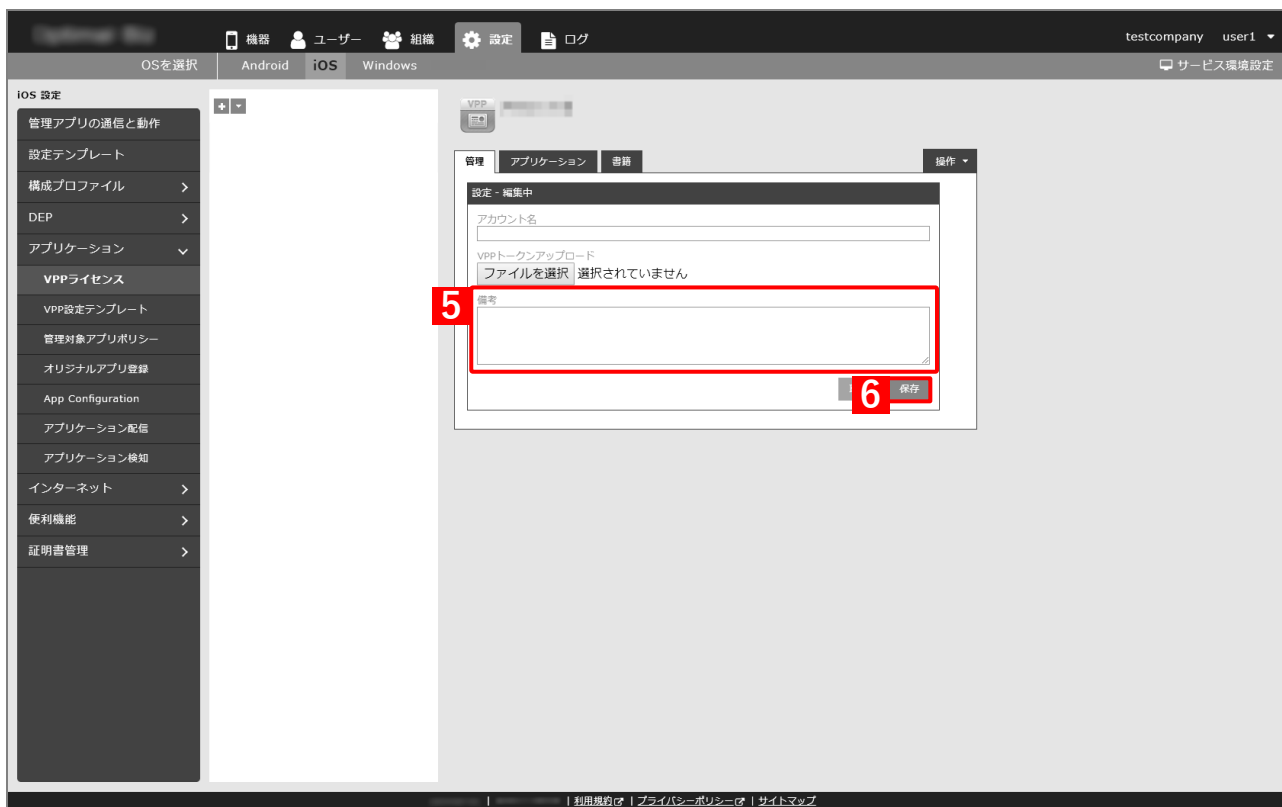
⇒ 「新規作成」画面が表示されます。



- 【3】 「アカウント名」 に VPP トークンの名称を入力します。
- 【4】 「ファイルを選択」 からアップロードする VPP トークンを指定します。



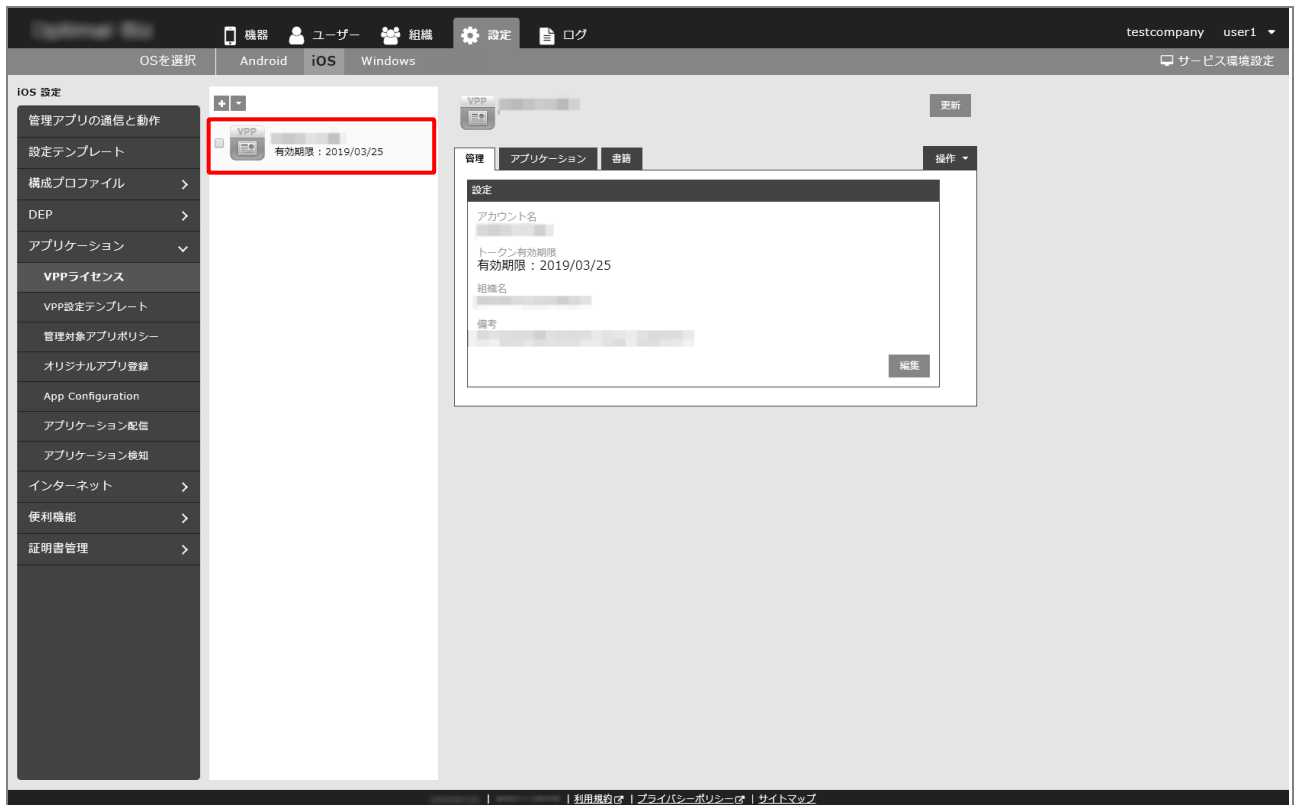
- 【5】 「備考」 に VPP トークンの取得に使用した Apple ID を記録します。
 - 【6】 「保存」 をクリックします。
- ⇒ 設定が保存されます。



🔪 手順【3】から【6】の詳細は、以下を参照してください。

📖 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定ーiOS」－「VPP ライセンス」

【7】作成された設定が、一覧に追加されたことを確認します。



1.2.3 VPP ライセンスの確認

VPP トークンアップロード後、「書籍」タブをクリックすると、VPP で購入した書籍が一覧で表示されます。「端末とユーザーの関連付け」でこれらの書籍をユーザーに割当します。

【1】 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] → 一覧から対象を選択します。

【2】 「書籍」タブをクリックします。


⇒ 「書籍」タブの下に購入した書籍一覧が表示されます。

The screenshot shows the VPP management interface. On the left, the 'iOS' settings menu is open, and the 'VPP' option is selected. The main content area displays the 'Books' tab, which lists purchased books. The table has the following columns: Store ID, 書籍名 (Book Name), 所持数 (Inventory), 使用数 (Usage), 残数 (Remaining), and 未割当数 (Unassigned). The data is as follows:

Store ID	書籍名	所持数	使用数	残数	未割当数
1		1	0	0	0
1		0	1	0	0
20		3	17	0	0
1		1	0	0	0
1		1	0	0	0
110		2	103	0	0
10		1	9	0	0
10		2	8	0	0
100		2	98	0	0
301		10	291	0	0
50		4	46	0	0
1		1	0	0	0
1		1	0	0	0
100		14	86	0	0
20		14	6	0	0
10		8	2	0	0


1.2.4 端末とユーザーの関連付け

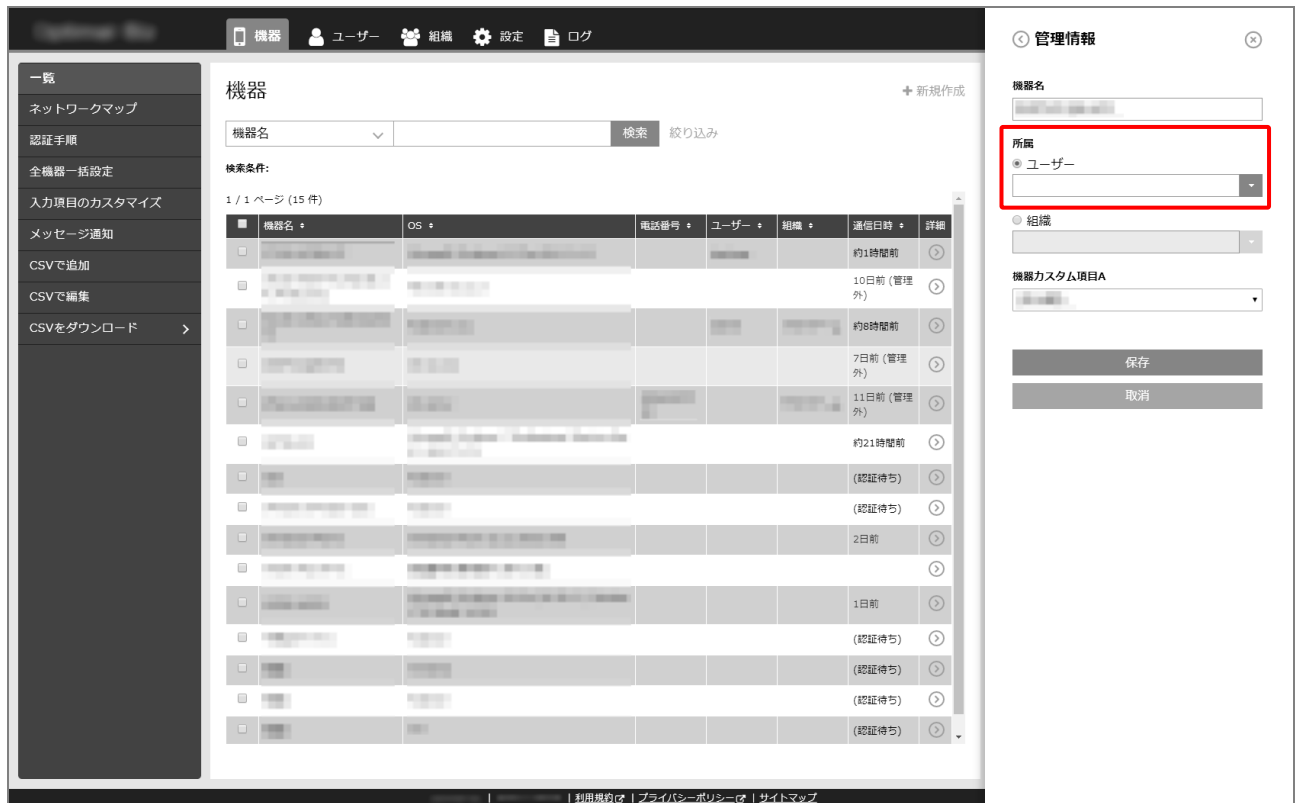
VPP ライセンスは、ユーザーまたは組織に対して割当します。

 VPP 書籍配信の場合は、機器を指定する配信方法はありません。

◆ユーザーに割り当てる場合

ユーザーを作成し、[機器] の「所属」オプションで「ユーザー」を選択し、機器との紐付けを行ってください。

 『管理サイト リファレンス マニュアル』の「機器」－「機器の管理情報」



The screenshot displays the VPP management interface. The main area shows a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and status. The right-hand panel, titled '管理情報' (Management Information), contains fields for device name, affiliation, and organization. The '所属' (Affiliation) dropdown menu is highlighted with a red box, showing 'ユーザー' (User) selected. Below the dropdown are '保存' (Save) and '取消' (Cancel) buttons.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
...	約1時間前	...
...	10日前 (管理外)	...
...	約8時間前	...
...	7日前 (管理外)	...
...	11日前 (管理外)	...
...	約21時間前	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...
...	2日前	...
...	1日前	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...
...	(認証待ち)	...

◆組織に割り当てる場合

組織を作成し、[機器] の「所属」オプションから「組織」を選択し、機器との紐付けを行ってください。

📖『管理サイト リファレンス マニュアル』の「機器」－「機器の管理情報」

ただし、組織を活用する場合、[ユーザー] で所属する「組織」を設定する必要があります。

1.2.5 ライセンスの仮割当・割当の反映

ユーザー（組織）に対してライセンスを割当します。書籍ライセンス付与は3ステップあります。

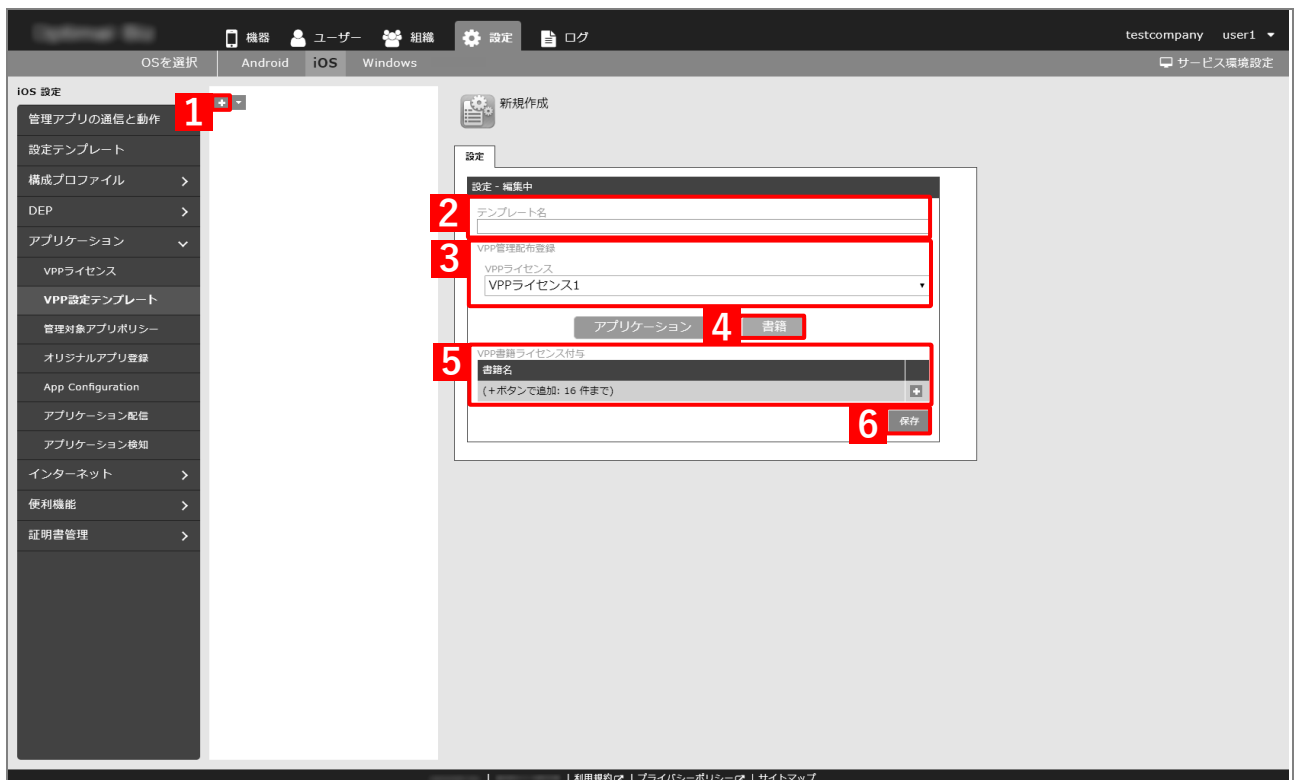
1. VPP テンプレートの作成（任意設定）
2. ライセンスの仮割当（ユーザー／組織）
3. ライセンスの割当を反映

1.2.5.1 VPP テンプレートの作成（任意設定）

各ユーザーまたは機器に対してアプリのライセンスを付与するには、複数の書籍をまとめたテンプレートを事前に作成することで効率的に「ユーザー」、「組織」で設定を行うことができます。詳細は、以下を参照してください。

🔗『管理サイト リファレンス マニュアル』の「設定-iOS」-「VPP ライセンス」

- [1]** 「設定」→「iOS」→「アプリケーション」→「VPP 設定テンプレート」→ **+** をクリックします。
- [2]** 「テンプレート名」に任意のテンプレート名を入力します。
- [3]** 「VPP 管理配布登録」の「VPP ライセンス」にアップロードした VPP トークンをプルダウンメニューから指定します。
- [4]** 「書籍」をクリックします。
- [5]** 「VPP 書籍ライセンス付与」にテンプレートへ含める書籍を追加します。
- [6]** 「保存」をクリックします。



1.2.5.2 ライセンスの仮割当（ユーザー／組織）

［ユーザー］の「VPP 設定」タブ、または［組織］の［その他▼］の「VPP 設定」からライセンスの仮割当を行います。

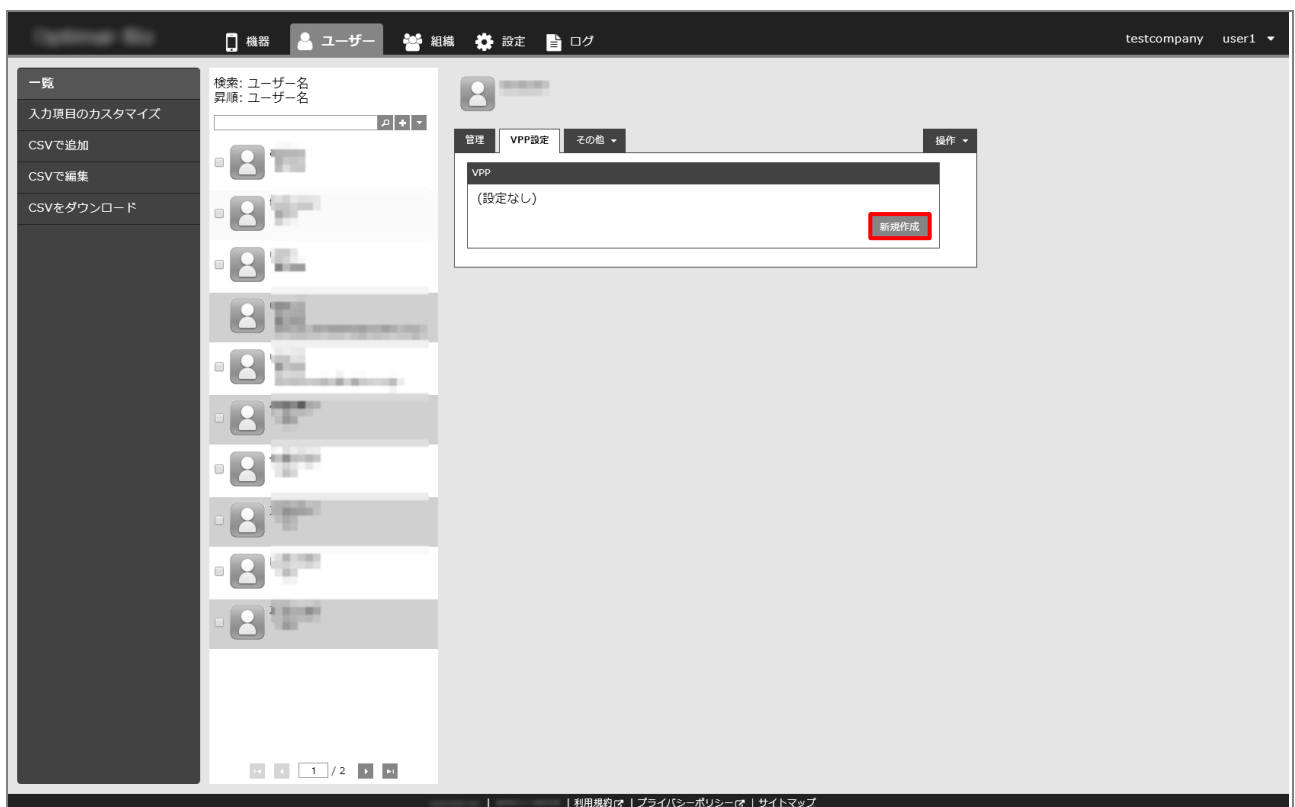
設定には2つの手順があり、状況にあわせて選択してください。

- VPP 設定テンプレートを使用する場合
- VPP 設定テンプレートを使用しない場合

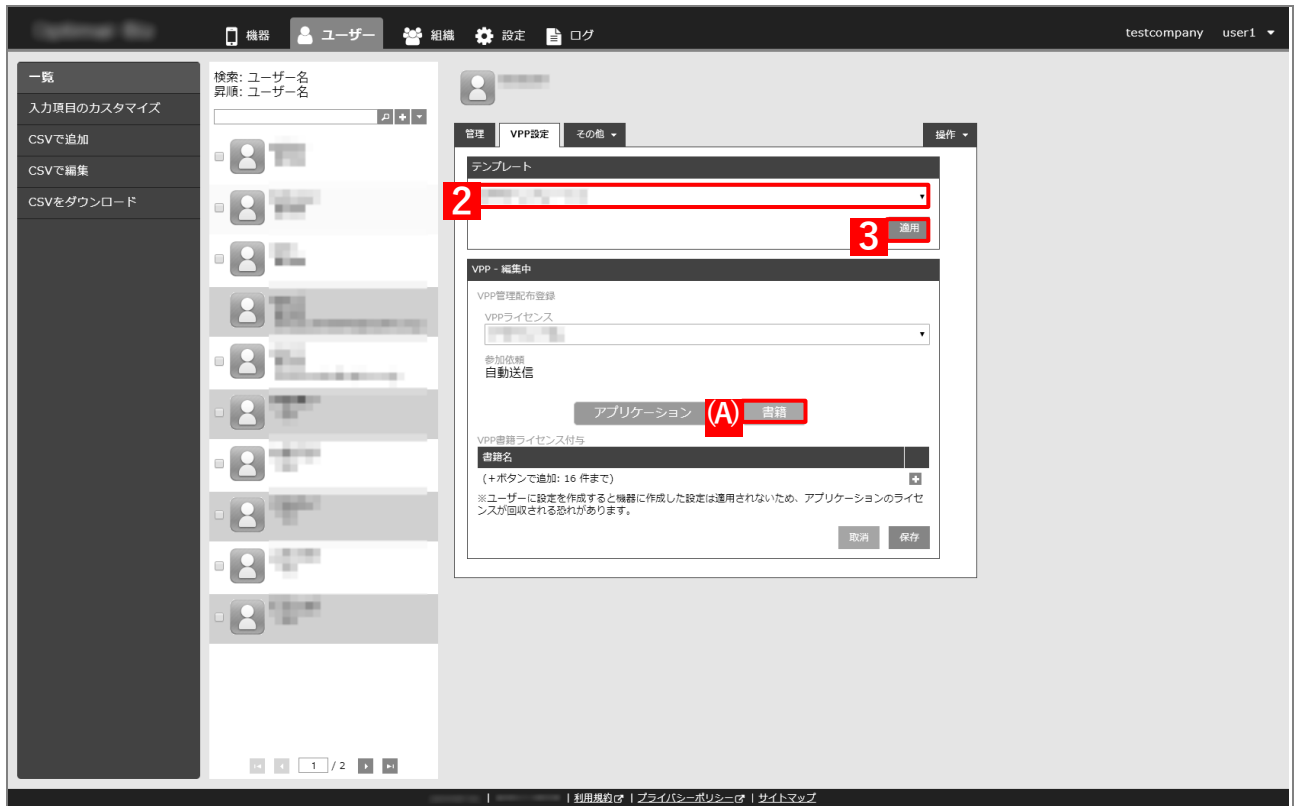
どちらの手順でも作業が終わりましたら、「仮割当したライセンスの反映」へ続きます。

《VPP 設定テンプレートを使用する場合》

【1】 [ユーザー] → [一覧] →一覧から対象を選択→「VPP 設定」→[新規作成] をクリックします。



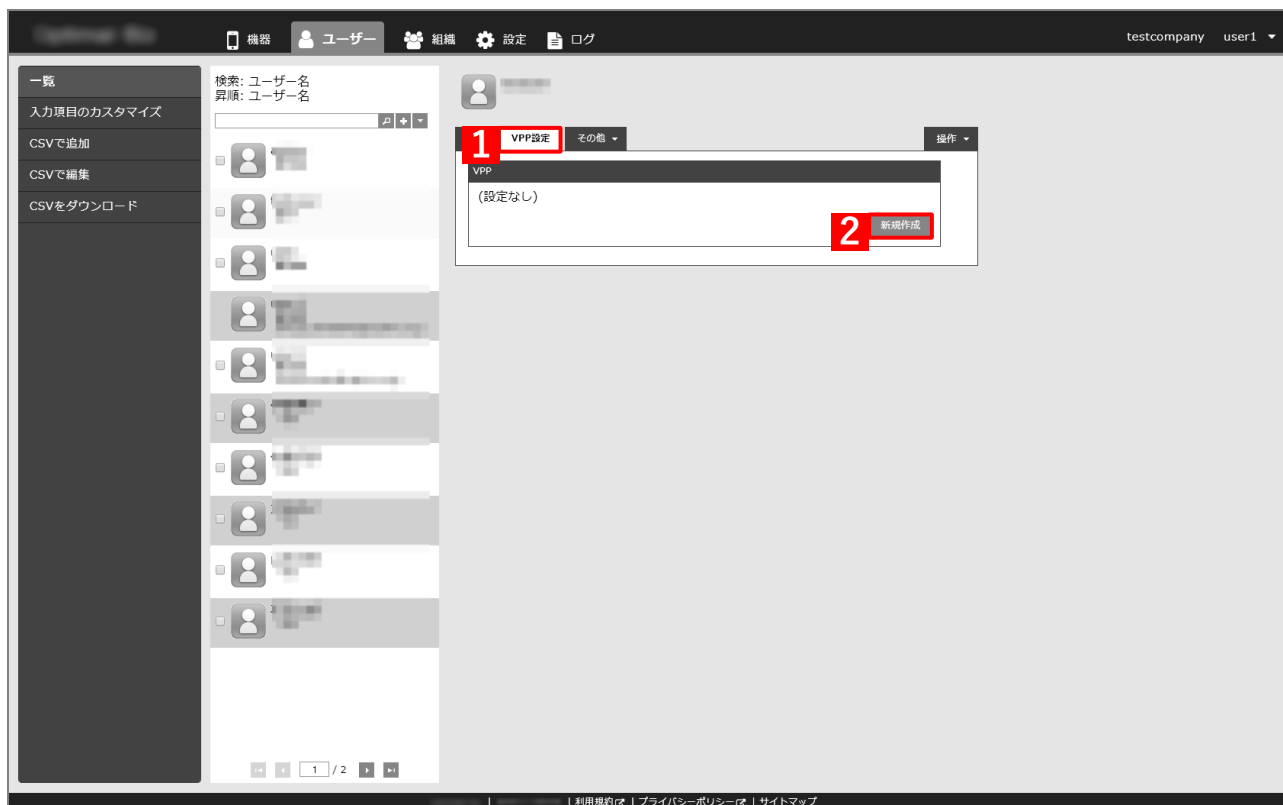
- 【2】「テンプレート」にプルダウンメニューから作成したテンプレートを指定します。
- ✎ [組織] の [その他▼] → 「VPP 設定」の場合、「VPP ライセンス付与対象」に「ユーザー」または「機器」を選択します。
- ✎ (A) [書籍] が選択されている状態であることを確認してください。
- 【3】[適用] をクリックします。



- 【4】「仮割り当てたライセンスの反映」に続きます。

《VPP 設定テンプレートを使用しない場合》

- 【1】 [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象を選択 → 「VPP 設定」 タブをクリックします。
- 【2】 [新規作成] をクリックします。



【3】「VPP ライセンス」にアップロードした VPP トークンを指定します。

✎ [ユーザー] の場合のみ、ユーザーに複数の iOS 機器が紐付けられていると、「参加依頼」はどの iOS 機器に参加依頼を送付するかを選択します。

- ・ 自動送信：最初に同期した端末が VPP サービスに参加します。(Apple ID が異なることを想定)
- ・ 手動送信：どの端末を VPP サービスに参加させるかを選択できます。

✎ [組織] の場合のみ、VPP ライセンスを付与する対象から「ユーザー」を選択します。

✎ [ユーザー] の場合のみ、構成プロファイルアップロードで、App Store を表示させないようにする制限項目（「App のインストールを許可」または「App Store からの App インストールを許可」）を有効にしていると、VPP の参加依頼を完了できませんのでご注意ください。

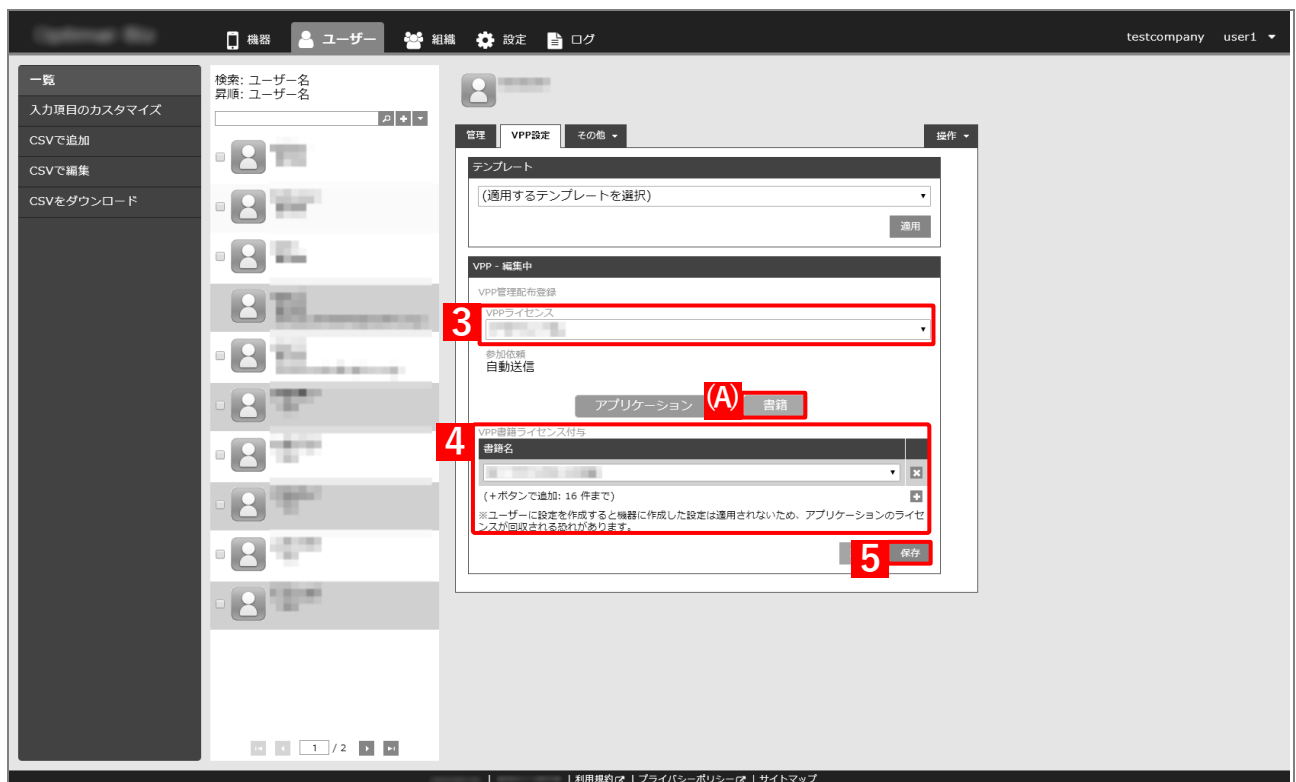
【4】「VPP 書籍ライセンス付与」の「書籍名」に書籍を追加します。

✎ + をクリックすると、新規に追加できます。

✎ ✕ をクリックすると、追加したアプリケーションを削除できます。

✎ (A) [書籍] が選択されている状態であることを確認してください。作業を行います。


【5】配布する書籍をすべて追加したら、[保存] をクリックします。



【6】「仮割り当てたライセンスの反映」に続きます。

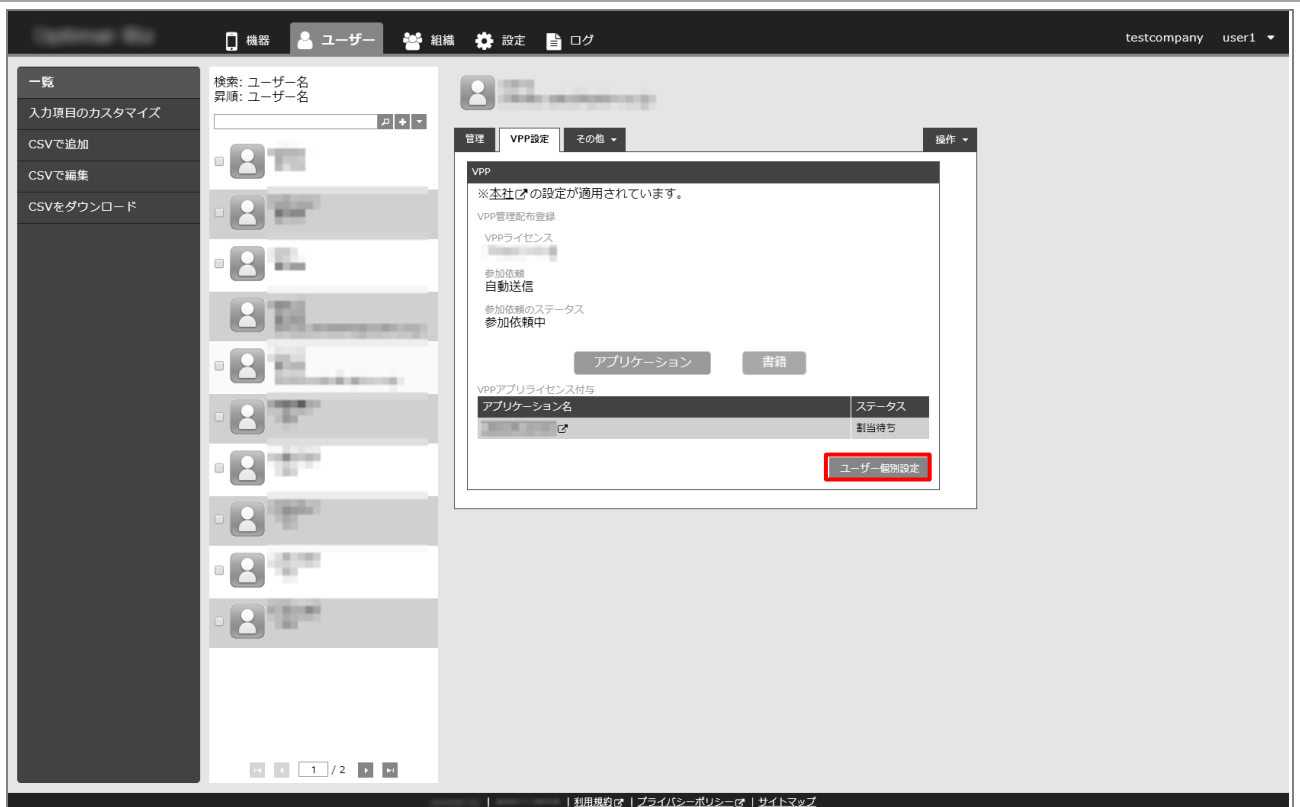
1.2.5.3 仮割当したライセンスの反映

仮割当したライセンスを反映します。

 ユーザー、組織、すべてに VPP 設定がされていた場合、優先順位は「ユーザー>組織」で設定されます。組織に VPP 設定を行う場合は、事前にユーザーに、すでに VPP 書籍ライセンスが付与されていない状態であることを確認してください。

ユーザーが所属している組織に、すでに VPP 設定が適用されている場合、VPP 設定画面には組織で設定した VPP 設定詳細が表示されます。組織の設定を無視して個別の VPP 設定を適用する場合は、ユーザー画面の場合は「ユーザー個別設定」をクリックしてください。

《 [ユーザー] の場合 》



1.2.5.4 ライセンスの割当を反映

「仮割当したライセンスの反映」で設定した仮割当を本割当として反映します。

- [1]** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [VPP ライセンス] → 一覧から対象を選択 → 「書籍」タブを表示します。
- [2]** 該当書籍の「未割当数」が「1」以上の数値であることを確認します。
☒ 「0」の場合は反映する仮割当がありません。
- [3]** [更新] をクリックしてください。
 ⇒ 「未割当数」が「0」になり、「使用数」カラムの数値が反映されたライセンス数に合わせて増加します。

Store ID	書籍名	所持数	使用数	未割当数
1		1	1	0
1		0	1	0
20		2	17	0
1		1	0	0
1		1	0	0
110		2	103	0
10		1	9	0
10		2	8	0
100		2	98	0
301		10	291	0
50		4	46	0
1		1	0	0
1		1	0	0
100		14	86	0
20		14	6	0
10		8	2	0

- ☒ 「所持数」が「未割当数」を下回る場合、ライセンス付与はできません。
- ☒ VPP 書籍配信ではライセンスの回収、書籍の削除はできません。そのため、特に有償の VPP 書籍については誤って配信しないよう、配信先には十分に注意してください。
- ☒ リモートワイプ（管理領域）実施時も、書籍はアンインストールされずに端末へデータが残ります。
- ☒ 画面が変更されない場合は、画面を再読み込みしてください。
- ☒ 仮割当を行ったあとも「未割当数」に反映されない場合は、対象ユーザーの「VPP 設定」タブの設定をご確認ください。すでに空の VPP 書籍のライセンスなどが割当済みの場合、「未割当数」が正しく更新されない場合があります。

1.2.6 iOS 端末での割当許可

VPP ライセンスをユーザーに割当てた場合は、管理サイトの [機器] からの同期の実行後に、以下の画面が端末に表示されます。以下のように同意を行う必要があります。

【1】 [続ける] をタップします。

- 📌 掲載されている割り当て許可の要求画面は iOS 11 での表示です。
iOS のバージョンにより、要求画面が異なる場合がございます。



【2】 Apple 社からのアプリケーションや書籍に関する使用条件とのプライバシーポリシーが表示されます。一番下までスクロールして、[同意する] をタップします。

- 📌 初回配布時に同意していただければ、以後表示されません。途中でキャンセルされた場合は、管理サイトからの同期時に再度表示されます。
(ユーザーを削除しない限り、再度行う必要はありません)
- 📌 同意後は、端末が「監視モード」に設定されていればサイレントインストールができるようになります。
- 📌 アプリケーション配布のタイミング：
アプリケーションは [同意する] をタップしたあとの同期時に配布されます。同期のタイミングは端末の通信状況などに依存します。

